アフターサービス

●保証書（別紙参照）

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から１年間です。

●対象部分機器

本体（消耗部品は除く）

●修理をご依頼されるとき

「故障かな？と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名（品番）、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。
※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。
※修理品の取り付け・取り外しにかかる費用は補償いたしかねます。

1. お客様ご相談センター

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

・下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
・電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
・紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

受付時間　9：00 ～ 17：00　月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く）

お客様ご相談センター　フリーコール 0120-998-036

本機のアップデート情報、最新の取扱説明書や専用ビューアソフトは随時、弊社ホームページに公開されます。最新情報は弊社ホームページでご確認ください。
(https://www.yupiteru.co.jp/)

株式会社ユピテル
〒108-0075 東京都港区港南1-6-31

6SS2519-A
ver 1.1

SUPER NIGHT

2カメラドライブレコーダー

Yupiteru

SN-TW6100c

取扱説明書 12V車対応

画面自動オフ機能 搭載

動画記録モード時に無操作で画面を自動的に OFF する時間を選択できます。（初期値：1 分）

このたびはユピテル製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本機で使用する専用ビューアソフトは、付属のmicroSDカード内に収録されていません。お手数ですが、弊社ホームページからダウンロードしてご利用ください。（https://www.yupiteru.co.jp/）

⚠ 事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ず電源OFFしてからmicroSDカードを抜いて保管してください。

⚠ 電源ONの状態でmicroSDカードの抜き差しを行わないでください。microSDカード破損の原因となります。必ず電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認し、microSDカードの抜き差しを行ってください。

⚠ SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書込み可能回数など製品寿命があります。

確認とご注意

安全上のご注意 …… 4
使用上のご注意 …… 8
もしも事故が起きたら… …… 10
SDカードをフォーマットする …… 12

基礎知識

各部の名称と働き …… 14
1. 付属品 …… 16
2. 別売品 …… 17
3. 付属品・別売品の購入について …… 17
SDカードの取り外し/装着 …… 18
1. SDカードを本体から取り外す …… 18
2. SDカードを本体へ装着する …… 18
動画記録モード …… 19
録画について …… 20
1. 常時録画(通常録画、タイムラプス) …… 20
2. イベント記録(Gセンサー記録、ワンタッチ記録) … 21
上書きモード …… 24
メンテナンスについて …… 26
初期値について …… 27

すぐに使う

本機の取り付け …… 28
1. フロントカメラユニットを取り付ける …… 29
2. リアカメラユニットを取り付ける …… 31
3. リアカメラケーブルを接続する …… 33
4. 電源を接続する …… 34
別売品の取り付け …… 35
1. 12V/24V対応電源直結コード (OP-E1160)の接続方法 …… 35
2. 5Vコンバーター付シガープラグコード (OP-E1109)の接続方法 …… 36
3. マルチバッテリー(OP-MB4000Ⅱ)の接続方法… 37
4. 駐車監視用 電源直結コード (OP-VMU5M)の接続方法 …… 41
電源ON ～ OFFまでの手順 …… 45
1. 電源ON(録画を開始する) …… 45
2. 録画を停止する …… 46
3. 録画を再開する …… 46
4. ワンタッチ記録をする …… 47
5. 音声録音をON/OFFする …… 47
6. 画面表示を切り替える …… 48
7. 電源OFF(録画を終了する) …… 48

カスタマイズして使う

設定メニューの表示方法 …… 51
1. 設定メニューを表示する …… 51
2. 録画を再開する …… 51
設定メニュー …… 52
1. 録画設定 …… 53
2. 再生設定 …… 54
3. SDカード …… 54
4. 共通設定 …… 55
SD初期化(フォーマット) …… 56
1. SDカードをフォーマットする …… 56

再生する

再生モードの表示・再生方法 …… 57
1. 再生モードを表示する …… 57
2. 本機で録画ファイルを再生する …… 57
3. 録画を再開する …… 59
再生モード …… 60
ファイル消去 …… 61
1. 録画ファイルを消去する …… 61

専用ソフト

専用ビューアソフトで再生する …… 63
1. 準備する …… 63
2. 専用ビューアソフトを起動する …… 63
3. 録画ファイルを再生する …… 63
4. 専用ビューアソフトを終了する …… 64
専用ビューアソフト …… 65
1. 専用ビューアソフトの画面について …… 65

その他

録画ファイルの読み出しについて … 68
1. 専用ビューアソフトを使用せずに録画ファイルを再生する …… 69
こんなときは …… 70
故障かな？と思ったら …… 71
仕 様 …… 74
microSDカード対応一覧表 …… 76
1. 録画時間の目安 …… 76
2. イベント記録の最大記録件数 …… 76
アフターサービス …… 裏表紙
1. お客様ご相談センター …… 裏表紙

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

●危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告：「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。

⚠ 注意：「軽傷を負うことや物的損害が発生するおそれがある」内容です。

絵表示について

❗ 必ず実行していただく「強制」内容です。

🚫 してはいけない「禁止」内容です。

⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

☛ 関連するページを示します。

●安全上お守りいただきたいこと

⚠ 警 告

❗ **異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。**

そのまま使用すると、火災や発火、感電のおそれがあります。

＜異常な状態の例＞

・内部に異物が入った
・水に浸かった
・煙が出ている
・変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

☛ 裏表紙「アフターサービス」

❗ **心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。**

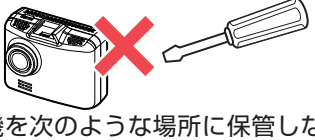
❗ **持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。**

❗ **本機を長時間使用しない場合、本体から電源コードを外してください。**

車両バッテリーの放電や火災の原因となります。

🚫 **サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。**

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



🚫 **本機を次のような場所に保管しないでください。**

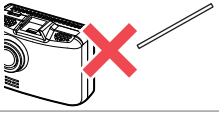
・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
・湿気やほこり、油煙の多い所
・ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

🚫 **本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れたり、加熱したりしないでください。**

破裂、発火、やけどの原因となります。

🚫 **穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。**

感電や故障の原因となります。



病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。
電子機器などが誤作動するおそれがあり、重大な事故の原因となります。

本機を可燃性ガスの多い環境では使用しないでください。
爆発や火災の原因となります。

本機を改造しないでください。
故障の原因となり保証を受けることができません。また、それによって生じた損害に関しまして当社は一切の責任を負いません。

SDカードおよびその他の付属品は、子供の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んでしまうおそれがあります。

注 意

結露したまま使い続けないでください。
故障や発熱などの原因となります。（気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。）

落としたり、強いショックを与えないでください。
破損、故障の原因となります。

各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。
故障の原因となります。

濡れた手で操作しないでください。
感電の原因となります。

本体の近くに磁石などの磁気を帯びた素材を置かないでください。
故障の原因となります。

本機は精密機械です。
静電気/電気的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

●取り付けについて（共通）

警 告

取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付けてください。
誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

一部の運転支援システム装着車の場合、取り付け位置によっては制御に影響を及ぼすおそれがあります。
取り付け前に、車両の取扱説明書をご確認ください。

エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。
万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やけがの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。

注 意

取り付けは確実に行ってください。また定期的に点検を行ってください。
本体などの脱落・落下等によるけがや事故、物的損害をこうむるおそれがあります。

突起部分などにご注意ください。
取り付けや取り外しの際、突起部分などでけがをするおそれがあります。

接続部は確実に奥まで挿し込んでください。
動作しない、火災や感電、故障の原因となります。

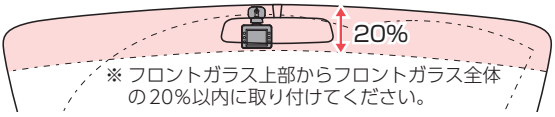
テレビ/ラジオアンテナ付近に設置しないでください。
テレビ/ラジオ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。

●取り付けについて(フロントカメラユニット)

⚠ 警 告

フロントガラスへの取り付けは、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されています。運転者の視界の妨げにならないよう、フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。

※フロントガラスの下の縁から15㎝以内の取り付けが可能になりましたが、上部に比べ本機が高温になりやすいため、弊社は上部20%への取り付けをお勧めします。



●取り付けについて(リアカメラユニット)

⚠ 警 告

リアガラスが可動する車両やリアガラスにフィルムを貼っている車両の場合、リアトレイなどに取り付けてください。

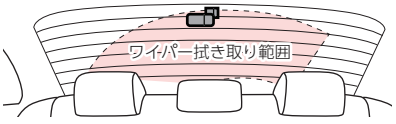
両面テープで取り付ける前にフロントカメラユニットで映像の確認をしてください。

誤った方法で取り付けた場合、映像が上下反転します。

両面テープの貼り付け面がリアガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。

リアワイパーが装着された車両の場合、リアワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。

ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。



●電源コードについて

⚠ 警 告

電源コードは確実に挿し込んでください。

接触不良を起こして火災の原因となります。

お手入れの際は、電源コードを抜いてください。

感電の原因となります。

シガーライターソケットは単独でご使用ください。

タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。

シガーライターソケットやシガープラグコードのマイナス端子、プラス端子の汚れはよく拭いてください。

接触不良を起こして火災の原因となります。

指定以外のヒューズは使用しないでください。

指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。

指定された電源電圧車以外では使用しないでください。

火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

コードを引っ張ったり、傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。

故障や感電の原因となります。

⚠注 意

車両停止(ACC OFF)してもシガーライターソケットに常時電源が供給される車種の場合、ご使用にならないときはシガープラグコードを抜いてください。

シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。

コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずコードを持たずに抜いてください。

●SDカードについて

⚠警 告

SDカードの出し入れは、本機の電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認してから行ってください。

SDカードは一方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめの上、挿入してください。

無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

●本機の操作・運転について

⚠警 告

走行中は運転者による操作、画面の注視をしないでください。

このような行為は道路交通法第71条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。

ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。

海外ではご使用にならないでください。

本機は日本国内仕様です。

運転者は走行中に操作しないでください。

走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。

急発進したり急ブレーキをかけないでください。

安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるけがや事故、物的損害をこうむるおそれがあります。

●本機のお手入れについて

⚠注 意

カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。

乾いた布などで拭くとキズの原因となります。

本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。

内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。

塗装面を傷めます。

使用上のご注意

●本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。

●本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、当社は一切その責任を負いません。

・自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
・説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
・本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
・本製品の取り付けによる車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 録画についての注意

・本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
・本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
・本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、当社は一切その責任を負いません。
・本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、当社は一切責任を負いません。
・本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
・LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については当社は一切責任を負いません。
・映像を正常に録画するため、カメラのレンズや車両のフロントガラスは常に清潔にしてください。
・録画条件により、録画のコマ数(フレームレート)が変わる場合があります。
・運転者は走行中に電源ランプ等を注視したり、操作しないでください。ワンタッチ記録(手動録画)するときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。
・事故発生時は、録画ファイルが上書きされないように必ずSD カードを保管してください。
・本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをすると、データが破損するおそれがあります。
　※本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
　※水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
　※長期間使用しなかった場合。
　※パソコンでの操作時に誤った取り扱いを行った場合。

■ SDカードに関する注意

・カードリーダーは、使用のSDカード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していないカードリーダーを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みができなくなる可能性があります。
・SDカードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。本機の動作中にSDカードの取り出しや挿入を行うと、SDカードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
・SDカードはデータの書き込みと消去を繰り返すことで断片化が進みSDカードエラーが起きやすくなります。本機は断片化しない独自のシステムを採用しており定期的なフォーマットは不要です。
・SDカードには寿命があります。SDカードのデータを記録する部分は多くのメモリーセクターで構成され、繰り返しデータの書き換えを行うとメモリーセクターは劣化する特性があります。劣化が進むとメモリーセクターの一部が破損し、正常に録画ができなくなる可能性があるため、定期的に新しいSDカードへの交換をお勧めします。(製品寿命はSDカードメーカーや使用状況により異なります)
・SDカードの消耗に起因する故障または損傷については、当社は一切の責任を負いません。
・重要な記録データは、パソコンへ保存やDVDなど別媒体での保管をお勧めします。
・付属品以外のSDカードを使用する場合は、必ず初回起動時に本機でフォーマットしてください。
・本機をご使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証について、当社は一切その責任を負いません。
・SDカード内に本機以外のデータを入れないでください。動作が不安定になることがあります。

■ 他社製品との組み合わせに関する注意

・他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保証することができません。あらかじめご了承ください。

■ 取り付けに関する注意

・本機は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やけがの原因となります。
・本機の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
・本機の周囲に他の物を配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。
・テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
・ラジオアンテナ付近に本体の取り付けおよびリアカメラケーブルの配線を行うとラジオの受信感度が下がる場合があります。
・本書に記載のある付属品や別売品以外は使用しないでください。それ以外を使用した場合の動作に関しては保証いたしかねます。

■ 液晶パネルに関する注意

・表示部を強く押したり、爪やボールペンなどの先の尖ったもので操作をしないでください。表示部の故障や破損でけがの原因となります。
・表示部を金属などで擦ったり引っ掻いたりしないでください。表示部の故障や破損でけがの原因となります。
・サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
・周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。
・液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。
・太陽等の高輝度の映像を記録すると、黒点のように映ることがありますが、故障ではありません。

■ GPS測位に関する注意

・本機を初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまで20分以上時間がかかる場合があります。
・電波の透過率が低いガラス(金属コーティングの断熱ガラスなど)やフロントガラスをメタリックフィルム等で着色している場合、GPSを測位できない場合があります。
・走行速度や進行角度、距離などの表示は、GPSの電波のみで計測しています。測位状況によって、実際とは異なる場合があります。

■ 保証に関する注意

・本製品にはお買い上げから1年間の保証がついています。(ただし、電源コード、microSDカードならびに、消耗品は保証の対象となりません。)

■ 撮影された映像について

・本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。
・電源OFF時やアイドリングストップ時などに、リアカメラの映像が黒画面になる場合がありますが故障ではありません。あらかじめご了承ください。
・リアカメラユニットの表示映像は鏡像(ルームミラー越しの見え方)、記録映像は正像となります。
・正像/鏡像の表示切替はできません。あらかじめご了承ください。

■ シガープラグコードに関する注意

・シガープラグコードは、必ず付属品をご使用ください。
・シガープラグコードのヒューズが切れた場合は、市販品の新しいヒューズと交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。
・ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。一部のアイドリングストップ車で、アイドリングストップ後のエンジン再始動時にシガーソケットなどへの供給電源が低下することがあるため、本体の電源が落ちる場合があります。

■ 真夏などの炎天下での注意

・サンシェード等の日除けを使用する際は、本機をフロントガラスとサンシェード等の間に挟み込まないでください。熱がこもりやすくなるため、本機の故障につながる可能性があります。
・本機の動作温度範囲を超えている場合、動作を停止します。周囲の温度が下がってからご使用ください。
・使用環境によっては本体が高温になり、やけど等のおそれがあるため触れる際はご注意ください。

もしも事故が起きたら…

事故発生

記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずSDカードを取り外して安全な場所に保管してください。

※事故発生時の参考資料として使用することができます。事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
※LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害について当社は一切責任を負いません。

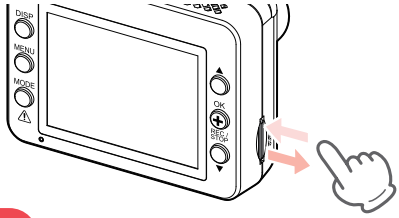
付属品の電源コード接続時

1 車両を停止(ACC OFF)する

電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認してください。

電源ランプ

2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。
※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートの隙間などに入り込む可能性があります。

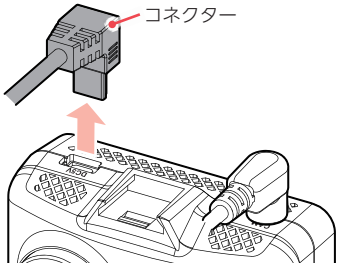
3 SDカードを保管する

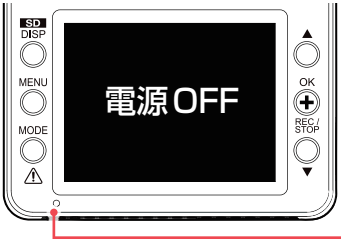
＜保管場所について＞

SDカードは精密な電子部品で構成されており下図のような場所でお取り扱い、保管をすると、録画ファイルが破損するおそれがあります。

別売品のマルチバッテリー、または駐車監視用 電源直結コード接続時

1 フロントカメラユニットのDCジャックから電源コードを取り外す

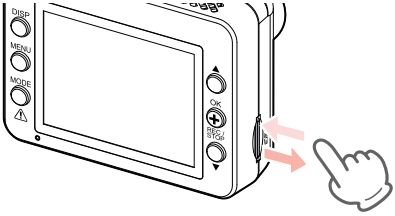




電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認してください。

電源ランプ

2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。
※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートの隙間などに入り込む可能性があります。

3 SDカードを保管する

保管場所については ☛ P.10を参照してください。

バックアップ機能について

重大事故などで急に電源が断たれた場合、バックアップ機能により、現在記録中の映像の破損を防いで保存します。

SDカードをフォーマットする

いつフォーマットするの？

・付属品以外のSDカードを使用するとき。（初回のみ）
・解像度を変更するとき。（☛ P.53）

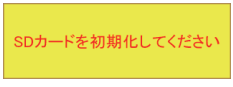
※フォーマットを行うと、録画ファイルがすべて消去されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。（☛ P.68）
※エラーメッセージ（☛ P.70）が表示されている場合は、OK(+)ボタンを押してからフォーマットを行ってください。
※タイムラプス中は、SD初期化画面を表示することはできません。OK(+)ボタン3秒以上長押ししてタイムラプスを終了してから行ってください。
※SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書込み可能回数など製品寿命があります。
※容量が大きいSDカードをフォーマットする場合、フォーマット完了までに数分間かかることがあります。あらかじめご了承ください。

「SD/DISPボタン」を使うフォーマット方法

1 車両を始動（ACC ON）する

録画を開始します。
・電源ランプ（赤）が点灯
・記録マークが「●REC」（赤）と表示

※付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に「SDカードを初期化してください」と表示します。
OK(+)ボタンを押してメッセージ表示を解除するとSD初期化画面（3）を表示します。

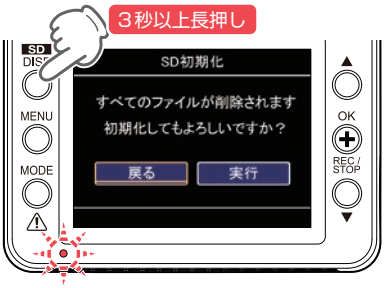


2 OK(+)ボタンを押す

録画を停止します。
・電源ランプ（赤）が点滅
・記録マークが「STBY」（緑）と表示

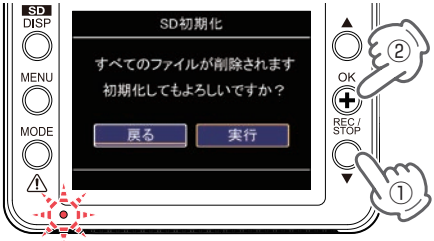
3 SD/DISPボタンを3秒以上長押しする

SD初期化画面を表示します。
「すべてのファイルが削除されます
初期化してもよろしいですか？」と
表示します。



4 [実行]を選択し、OK(+)ボタンを押す

フォーマットを開始します。
「SDカードを初期化しました」と表示
し、動画記録モードへ戻ります。



5 OK(+)ボタンを押す

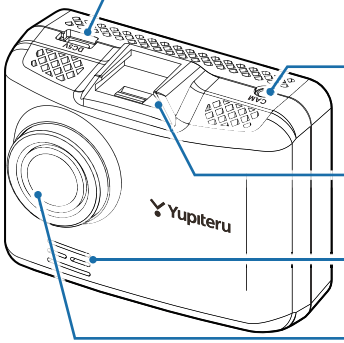
録画を再開します。

設定メニューからフォーマットする場合は、☛ P.56を参照ください。

各部の名称と働き

■ 本体(フロントカメラユニット)

正 面



DCジャック(DC5V)
付属のシガープラグコードなどを接続します。
(☛ P.34)

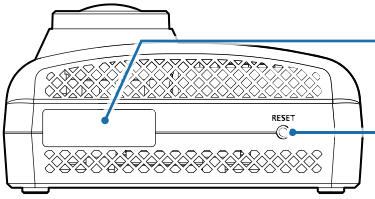
カメラジャック
付属のリアカメラケーブルを接続します。
(☛ P.33)

ジョイントレール
付属のブラケットを取り付けます。

スピーカー
録画ファイルの音声が出ます。

レンズ
※ ご購入時には保護フィルムが貼られています。
ご使用の際には、はがしてください。

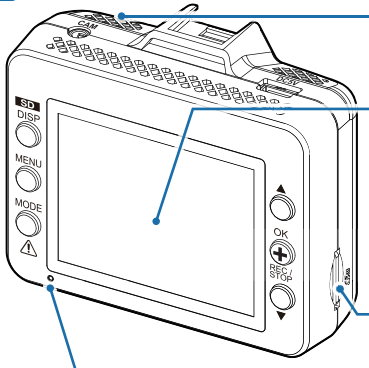
下 面



シリアルナンバー
製造番号が印刷されています。

リセットボタン
本体をリセットし、システムを再起動します。
(☛ P.15)

背 面



マイク(本体内蔵)
周辺の音を収集します。

フルカラー TFT液晶ディスプレイ 2.0インチ
各設定画面を表示したり、記録中の映像や記録後の映像を確認できます。
※ ご購入時には保護フィルムが貼られています。
ご使用の際には、はがしてください。

microSDカード挿入口
※ microSDカードがあらかじめ装着されています。

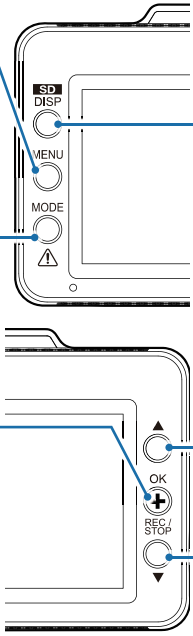
電源ランプ(赤)
本体の動作状態をランプでお知らせします。
(☛ P.45)

操作ボタン

MENUボタン
録画中に押すと音声録音のON/OFFをします。(☛ P.47)
録画停止中に押すと録画設定を表示します。(☛ P.53)

MODEボタン(記録ボタン)
録画中に押すとワンタッチ記録をします。(☛ P.47)
録画停止中に押すと再生モードを表示します。(☛ P.57)

OK(+)ボタン
録画中に押すと録画を停止します。
録画停止中に押すと録画を開始します。
3秒以上長押しすることで、タイムラプスに切り替えます。(☛ P.21)
エラーメッセージ表示中に押すと、非表示にすることができます。



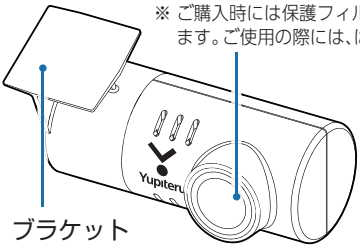
SD/DISPボタン
画面表示をフロント/リアで切り替えます。(☛ P.48)
録画停止中に、3秒以上長押しするとフォーマットを開始する画面を表示します。(☛ P.12)

▲ボタン
項目や設定値を選択します。

▼ボタン
項目や設定値を選択します。

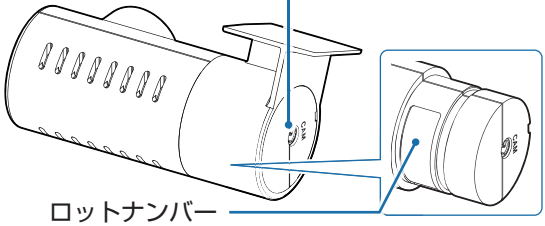
■ リアカメラユニット

レンズ
※ ご購入時には保護フィルムが貼られています。ご使用の際には、はがしてください。



ブラケット
※ あらかじめ装着されています。

カメラジャック
付属のリアカメラケーブルを接続します。(☛ P.33)



ロットナンバー
製造番号が印刷されています。

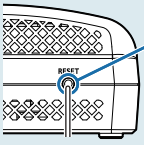
■ リセットボタンについて

画面が固まって動かない

ボタンを押しても反応しない

こんなときは

先の細いものでリセットボタンを押して再起動してください。



リセットボタン

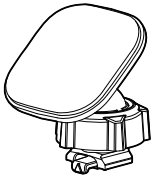
動作しなくなったり、誤作動を起こしたときは、フロントカメラユニット下部のリセットボタンを押して、システムを再起動させてください。

※ リセットボタンを押してもSDカードに記録したデータは消えません。また、設定が初期化することはありません。

1. 付属品

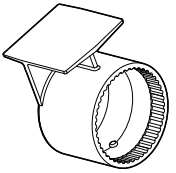
ご使用前に付属品をお確かめください。

■ フロントカメラ用ブラケット
(☛ P.29) ……1



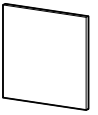
※ フロントカメラ用ブラケットには、両面テープが貼り付けてあります。

■ リアカメラ用ブラケット
(☛ P.31) ……1



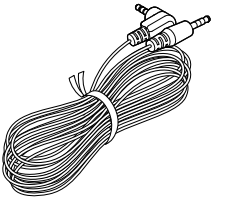
※ リアカメラに装着されています。

■ リアカメラ用両面テープ
(☛ P.31) ……1

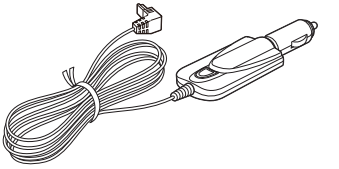


(20mm × 20mm)

■ リアカメラケーブル(約9m)
(☛ P.33) ……1



■ 5Vコンバーター付シガープラグコード(約4m)(12V車専用)
(☛ P.34) ……1



■ microSDカード(32GB) ……1
(本体にあらかじめ装着されています。)

■ 保証書 ……1

・本製品にはお買い上げから1年間の保証がついています。(ただし、電源コード、microSDカードならびに、消耗品は保証の対象となりません。)
・本機の故障による代替品の貸出は当社では一切行っておりません。
・SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書込み可能回数など製品寿命があります。
・どのSDカードにも本機との相性問題があります。市販品のSDカードでは最悪使用することができない場合があります。純正品でしたらその心配はありませんので安心してご利用いただけます。お使いの機種と一緒にお買い上げの販売店、またはお近くの弊社取扱店に純正品のSDカードをご注文ください。

2. 別売品

■ マルチバッテリー※1※4
OP-MB4000Ⅱ（12V車専用）

車両を停止(ACC OFF)すると、走行中に充電されたマルチバッテリーからの電源供給により、駐車記録を行います。車両バッテリーからの電源供給と違い、バッテリー上がりの心配がありません。約3時間の走行で満充電になります。（☛ P.37）

本体…… 1
入力コード…… 1
出力コード…… 1
面ファスナー…… 1

■ 12V/24V対応電源直結コード※2※4
（約4m）　OP-E1160

車内アクセサリー端子から直接電源をとることができます。12/24V電源の車両に対応しています。（☛ P.35）

■ ACアダプター　OP-E368

ご家庭で使用することができます。

■ 駐車監視用 電源直結コード※1※2※3
OP-VMU5M（12V/24V車対応）

車両バッテリーに繋げて使用する、オフタイマー設定・車両バッテリー監視機能付きの電源直結コードです。ACC ON/OFFと連動して常時録画⇔駐車記録モード(タイムラプス)を自動で切り替えます。（☛ P.41）

本体…… 1
両面テープ…… 1

■ 5Vコンバーター付シガープラグコード
（約4m）　OP-E1109(12V車専用)

付属のシガープラグコードと同等の品になります。

■ 専用microSDカード
OP-SD32M (32GB)
OP-SD64M (64GB)

※1：マルチバッテリー(OP-MB4000Ⅱ)と駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5M)は組み合わせて使用できません。
※2：24V車に接続する場合、別売品の駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5M)、または12V/24V対応電源直結コード(OP-E1160)が必要になります。
※3：電圧監視機能付ですが、車両バッテリーの状態やお車のご使用状況などの起因により、バッテリー上がりを起こす可能性があります。バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いません。
※4：マルチバッテリー(OP-MB4000Ⅱ)の接続には、12V/24V対応電源直結コード(OP-E1160)が必要になります。また、マルチバッテリーは12V入力のため、12V/24V対応電源直結コードを使用しても24V車では使用できません。

3. 付属品・別売品の購入について

・付属品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「ＸＸ（機種名）用○○(必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
・弊社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、下記ホームページをご確認ください。

Yupiteru スペアパーツ ダイレクト
https://spareparts.yupiteru.co.jp/

SDカードの取り外し/装着

本書では、特にことわりのない場合、「microSDカード」を「SDカード」と表記しています。

※本機と市販品のmicroSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。
※本機は、16GB以上、128GB以下のmicroSDHC/microSDXCカードに対応しています。
(SDスピードクラス「Class10」以上)

⚠ 注 意

- 電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認してから行ってください。
- SDカードは一方向にしか入りません。SDカードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本体が壊れることがあります。
- 付属品以外のSDカードは、必ず本機でフォーマットしてから使用してください。
- 使用環境によっては本体が高温になり、やけど等のおそれがあるため触れる際はご注意ください。

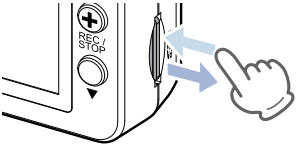
1. SDカードを本体から取り外す

別売品のマルチバッテリー、または駐車監視用 電源直結コードを接続している場合は、初めにフロントカメラユニットから電源コードを取り外してください。(☛ P.11)

1-1 車両を停止(ACC OFF)する

電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したのを確認してください。

1-2 SDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



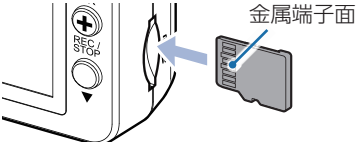
※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。
※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車室内で落とすとシートの隙間などに入り込む可能性があります。

2. SDカードを本体へ装着する

2-1 車両を停止(ACC OFF)する

電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したのを確認してください。

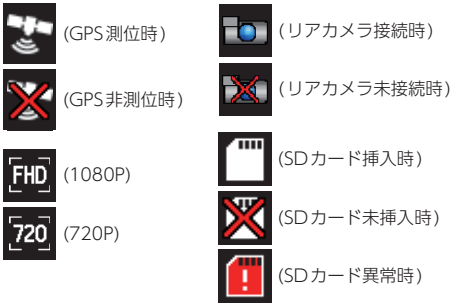
2-2 SDカードを挿入する



SDカード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。
※SDカードの向きに注意して挿入してください。

動画記録モード

動画記録モードでは、連続して動画を記録します。



No.	表示名	説　明
①	音声録音OFFアイコン※1	音声録音が[OFF]の時に表示されます。(☛ P.53)
②	GPSアイコン※1	GPSの状態をアイコンで表示します。
③	リアカメラ接続アイコン	リアカメラの接続状態をアイコンで表示します。
④	ファイルアイコン	ワンタッチ記録(M)、Gセンサー記録(G)時に表示します。
⑤	記録マーク	録画中に●(赤)と「REC」を表示し、停止中は「STBY」と緑色で表示します。また、タイムラプス中は●(赤)が(橙)になります。
⑥	解像度	録画する解像度を表示します。
⑦	microSDアイコン	SDカードの状態をアイコンで表示します。
⑧	日付・時刻	現在の日付と時刻を表示します。
⑨	記録時間※2※3	録画中に現在の映像の記録時間を表示します。

※1：タイムラプス中はGPSの位置情報/Gセンサー情報/音声は記録しないため (音声録音OFF)/ (GPS非測位時)アイコンを表示します。(☛ P.21)
※2：1ファイル単位(30秒)の記録時間になります。(例 00:00:29→00:00:00→00:00:01…)
※3：タイムラプス中は1ファイル単位が13分45秒になります。

■ 動画記録モード時のボタンの機能

ボタン	機　能	
SD/DISPボタン	短押し	押すたびに画面表示をフロント/リアで切り替えます。(☛ P.48)
	長押し	録画停止中に3秒以上長押しでSD初期化画面を表示します。(☛ P.12)
MENUボタン	短押し	録画中に押すと、音声録音のON/OFFを変更します。(☛ P.47) 録画停止中に押すと、設定メニューを表示します。(☛ P.51)
MODEボタン	短押し	録画中に押すと、ワンタッチ記録します。(☛ P.47) 録画停止中に押すと、再生モードのフォルダ選択画面を表示します。(☛ P.57)
▲ボタン	―	使用しません。
OK(+)ボタン	短押し	録画を開始/停止します。
	長押し	3秒以上長押しでタイムラプスへ切り替えます。(☛ P.21)
▼ボタン	―	使用しません。

録画について

記録方法は、常時録画(通常録画/タイムラプス)とイベント記録(Gセンサー記録/ワンタッチ記録)があります。

・お買い上げ時の設定では、SDカード容量がいっぱいになると、各記録方法の古いファイルを上書きして録画を続けます。設定により上書き時の動作を変更することができます。(☛ P.24「上書きモード」)
・本体起動直後や録画ファイルの記録直後にボタン操作をすると、記録されないことがあります。
・SDカードが未挿入や異常時(☛ P.19)、またはメッセージが表示された場合は、映像を記録することはできません。(☛ P.70「こんなときは」)

1. 常時録画(通常録画、タイムラプス)

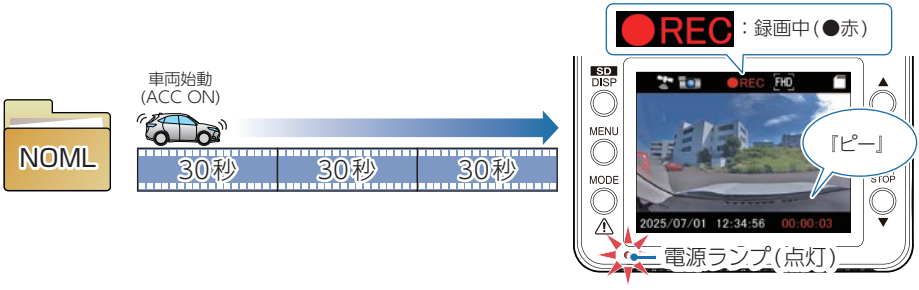
常時録画には、通常録画(27.5コマ/秒)とタイムラプス(1コマ/秒)があります。電源供給されている限り常時映像を記録します。常時録画開始時に『ピー』と音が鳴り、常時録画中は電源ランプが点灯します。

※音量の設定を[0]にしている場合、音は鳴りません。(☛ P.54「音量」)

・**録画ファイル構成**
1ファイルあたり通常録画は約30秒、タイムラプスは約13分45秒で生成します。
・**録画可能時間**
初期値(☛ P.27)で、付属のSDカード(32GB)に約108分/約50時間の常時録画が可能です。
SDカードの容量、解像度によって録画可能時間は異なります。(☛ P.76「録画時間の目安」)
・**上書きモード**
初期値では上書きモードが[全て上書き]のため、上限以降も上書きして録画します。
上書き動作は設定によって異なります。(☛ P.24「上書きモード」)

■ 通常録画

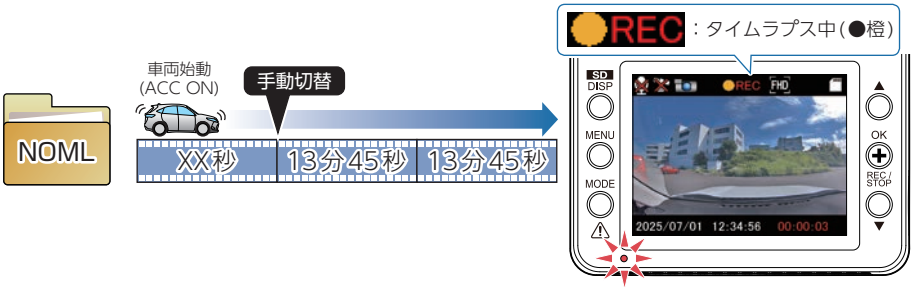
フレームレートを「27.5コマ/秒」で映像を常時記録します。



■ タイムラプス

長時間録画に対応するため、フレームレートを「1コマ/秒」に変更し映像を常時記録します。

※タイムラプス中はフレームレートが「1コマ/秒」に固定されます。そのため約13分45秒の映像が1ファイルになり、再生すると早送りの映像になります。
※タイムラプス中は[設定][再生][ワンタッチ記録][録画停止]を行うことはできません。あらかじめご了承ください。
※タイムラプス中は画面自動オフの設定に関わらず、1分後に画面OFFします。



●手動切替方法

動画記録モードで、OK(+)ボタンを3秒以上長押ししてください。
タイムラプス中は記録マークの●が「橙」になります。

※終了する場合はタイムラプス中にOK(+)ボタンを3秒以上長押ししてください。また、本体の電源OFFでもタイムラプスは終了します。

2. イベント記録(Gセンサー記録、ワンタッチ記録)

イベント記録には、Gセンサー記録とワンタッチ記録があります。イベント記録開始時に『ピー』と音が鳴り、イベント記録中は画面上部にファイルアイコンを表示します。

※音量の設定を[0]にしている場合、音は鳴りません。(☛ P.54「音量」)

・**録画ファイル構成**
常時録画の録画ファイル構成と同様になります。
※イベント発生のタイミングによって移動するファイル/ファイル数は異なります。(☛ P.23)

・**最大記録件数**
初期値(☛ P.27)で、付属のSDカード(32GB)にGセンサー記録とワンタッチ記録を合わせて約72件のイベント記録が可能です。SDカードの容量、解像度によって最大記録件数は異なります。(☛ P.76「イベント記録の最大記録件数」)

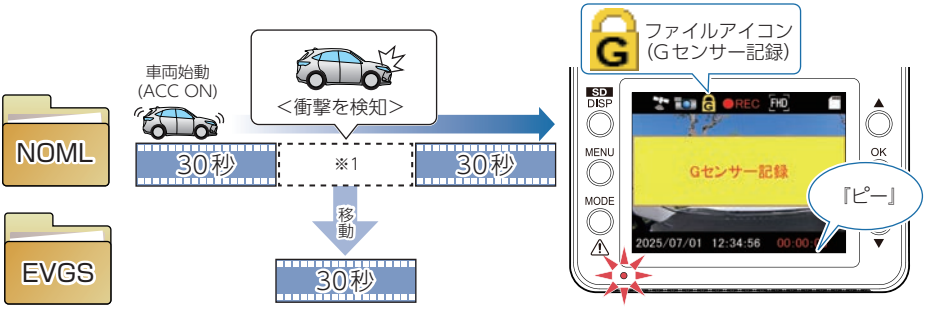
・**上書きモード**
初期値では上書きモードが[全て上書き]のため、上限以降も上書きして録画します。
上書き動作は設定によって異なります。(☛ P.24「上書きモード」)

■ Gセンサー記録

Gセンサーが一定以上の衝撃を検知すると、録画ファイルをSDカードの「EVGS」フォルダに移動します。

※初期値では[Gセンサー記録：ON]となります。設定で[OFF]にすることもできます。
（☛ P.53「録画設定」）

※Gセンサーの感度を設定することができます。初期値では、X（前後方向）、Y（左右方向）、Z（上下方向）の数値はすべて[1.0G]となります。（☛ P.53「Gセンサー設定」）

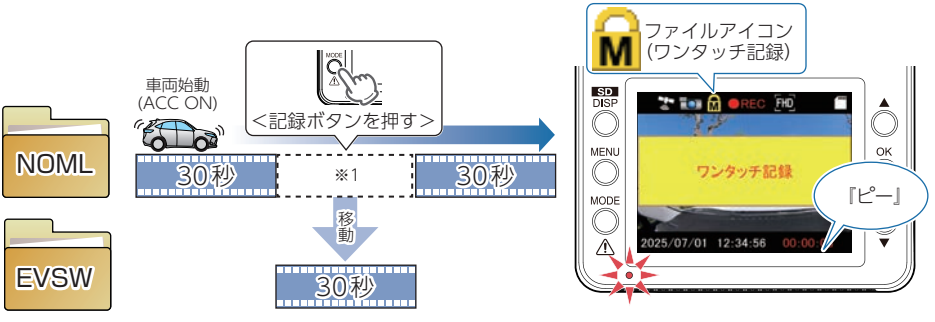


⚠ 注 意

事故発生時の衝撃が弱い場合、Gセンサーが衝撃を検知できない場合があります。その際は、常時録画の映像をご確認ください。

■ ワンタッチ記録＜手動録画＞

録画中にMODEボタンを押すと、録画ファイルをSDカードの「EVSW」フォルダに移動します。



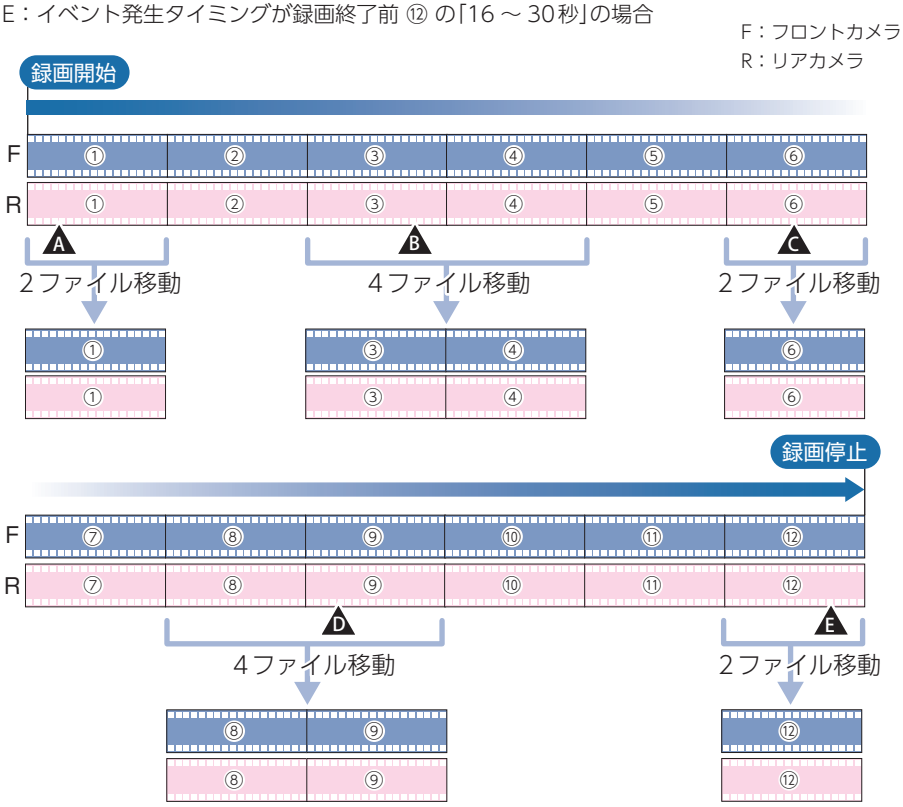
⚠ 注 意

ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く行ってください。

※1：イベント発生のタイミングによって移動するファイル/ファイル数は異なります。（☛ P.23）

■ イベント発生タイミングによる移動ファイル数について

A：イベント発生タイミングが録画開始直後 ① の「0 ～ 15秒」の場合
B：イベント発生タイミングが ③ の「15 ～ 30秒」の場合
C：タイムラプスでイベント発生タイミングが ⑥ の録画ファイル内の場合
D：イベント発生タイミングが ⑨ の「0 ～ 15秒」の場合
E：イベント発生タイミングが録画終了前 ⑫ の「16 ～ 30秒」の場合



上書きモード

上限に達した場合の動作を下記から選択できます。(☛ P.53「上書きモード」)

上書きモード		上限に達した場合の動作	
		常時録画	イベント記録
上書き禁止	すべての録画ファイルは上書きされません。	録画を停止	録画を停止
常時録画上書	常時録画(NOML)フォルダのファイルのみ上書きします。	上書きして録画を継続	録画を停止
全て上書き(初期値)	すべての録画ファイルを上書きします。	上書きして録画を継続	上書きして録画を継続

※上書きは古い録画ファイルから自動で行われます。

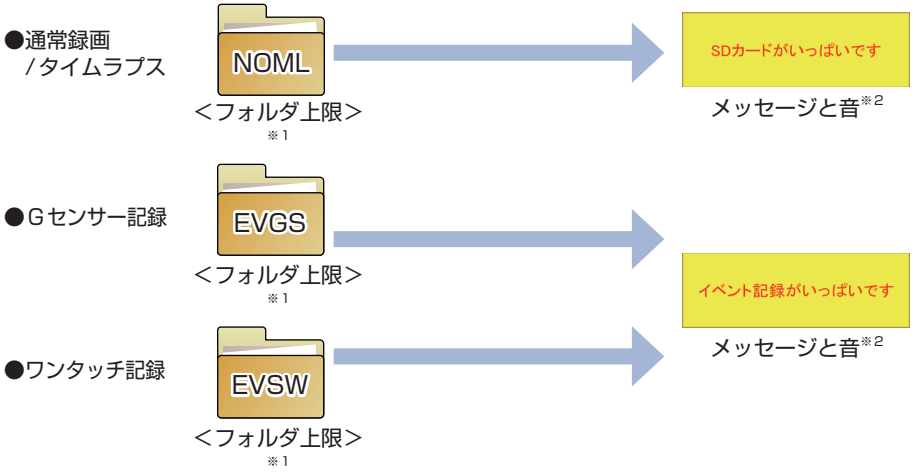
■ 上書き禁止

各フォルダがそれぞれ上限に達すると、その記録方法での録画を停止します。

例①:イベント記録(EVGS、EVSW)フォルダが上限に達すると、イベント記録は停止しますが、常時録画(NOML)フォルダが上限に達していなければ、常時録画を続けます。

例②:常時録画(NOML)フォルダが上限に達すると、常時録画は停止します。
さらに、イベント記録は移動する録画ファイルがないため記録件数にかかわりなく録画を行うことはできません。

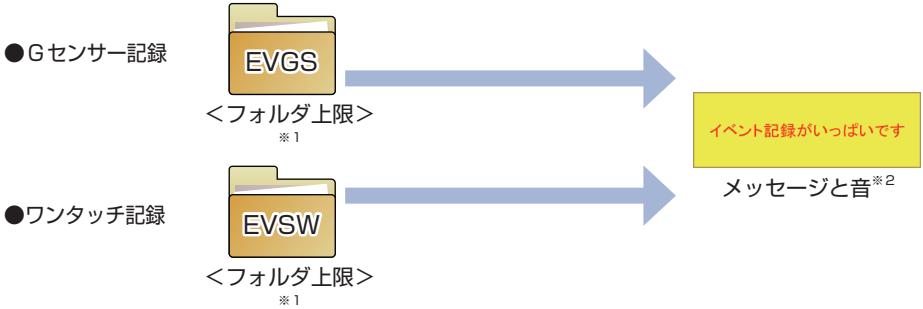
※ イベント記録は、常時録画を移動した録画ファイルです。



※1:時間/件数はSDカードの容量、解像度により異なります。(☛ P.76)
※2:音量の設定を[0]にしている場合、音は鳴りません。(☛ P.54「音量」)

■ 常時録画上書

常時録画(NOML)フォルダが上限に達すると、そのフォルダ内のファイルを上書きし、録画を続けます。
イベント記録は、フォルダ(EVGS、EVSW)が上限に達した時点で、その記録方法での録画を停止します。



■ 全て上書き(初期値)

各フォルダがそれぞれ上限に達すると、各記録方法の古いファイルを上書きし、録画を続けます。

メッセージ表示を解除する場合は、OK(+)ボタンを押してください。

※1：時間/件数はSDカードの容量、解像度により異なります。(☛ P.76)
※2：音量の設定を[0]にしている場合、音は鳴りません。(☛ P.54「音量」)

メンテナンスについて

■ 必要に応じてメンテナンス

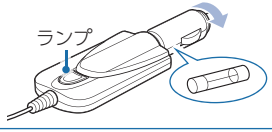
・付属のシガープラグコードのヒューズ交換

※交換用ヒューズ2A(20mm×5.2mm)

接続状態で車両始動(ACC ON)しても電源ONにならない(シガープラグコードのランプが点灯しない)場合は、ヒューズが切れている可能性があります。

① シガープラグコードが奥まで挿し込まれていることを確認してください。
② 下記の手順でヒューズを取り出し、ヒューズが切れていないかを確認してください。
③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

シガープラグの先端を、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。
ヒューズを交換したあとは、シガープラグの先端を図の矢印と逆方向に回し、しっかりと閉める。



・別売品のヒューズ交換

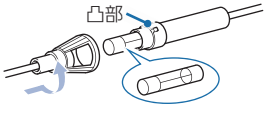
※マルチバッテリー(OP-MB4000Ⅱ):交換用ヒューズ6A(30mm×6.0mm)
※駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5M):交換用ヒューズ3A(20mm×5.2mm)×2
※5Vコンバーター付シガープラグコード(OP-E1109):交換用ヒューズ2A(20mm×5.2mm)
※12V/24V対応電源直結コード(OP-E1160):交換用ヒューズ2A(20mm×5.2mm)

接続状態で車両始動(ACC ON)しても電源ONにならない場合は、ヒューズが切れている可能性があります。

① 電源コード/接続コード類が外れていないかを確認してください。
② 下記の手順でヒューズを取り出し、ヒューズが切れていないかを確認してください。
③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

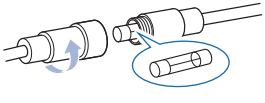
<OP-MB4000Ⅱ>

ヒューズホルダーの先端を、押しながら図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。
ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダー先端の溝と本体凸部を合わせて押しながら図の矢印と逆方向に回す。



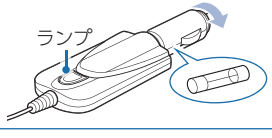
<OP-VMU5M、OP-E1160>

ヒューズホルダーを、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。
ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダーを図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める。



<OP-E1109>

シガープラグの先端を、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。
ヒューズを交換したあとは、シガープラグの先端を図の矢印と逆方向に回し、しっかりと閉める。



初期値について

本機の初期値は、下記の表のとおりです。

設定項目		初期値	説　明
録画設定	解像度	1080P	フロントカメラの映像を1920×1080の解像度で録画します。 ※ リアカメラの解像度は[1080P]で固定です。
	音声録音	ON	動画と同時に音声も録音します。
	上書きモード	全て上書き	SDカード容量の上限に達すると、すべての録画ファイルを上書きします。（☛ P.24「上書きモード」）
	自動駐車モード切替	OFF	車両停止(ACC OFF)時に自動で駐車記録モード(タイムラプス)へ移行しません。
	Gセンサー設定	ON	Gセンサー記録を行います。（☛ P.22「Gセンサー記録」）
	Gセンサー感度	X：1.0G Y：1.0G Z：1.0G	Gセンサー感度をすべて[1.0G]に設定しています。 ※ X(前後方向)/Y(左右方向)/Z(上下方向) ※ 感度は数字が小さくなると「敏感」になり、数字が大きくなると「鈍感」になります。
再生設定	音量	5	本機の音量を[5]に設定しています。 ※ 音量は操作音、常時録画/イベント記録開始時の音、メッセージの音、録画ファイル再生音に反映されます。
共通設定	操作音	ON	操作時に音を鳴らします。
	フリッカレス	60Hz	商用周波数を60Hz(西日本)に設定しています。
	画面自動オフ	1分	1分間無操作で画面OFFします。

※初期値を変更する場合は、☛ P.51 ～ 55「カスタマイズして使う」を参照ください。

本機の取り付け

取り付けの注意をご確認いただき、本機を車両に取り付けてください。

取り付けの注意

■ フロントカメラユニット

・両面テープは所定の位置にしっかり取り付けてください。
・ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に鮮明に記録できない可能性があります。
・ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
・車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
・フロントガラス縁の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。
・エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。
・本機の周囲に物を配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。
・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取り付けてください。
・テレビ/ラジオアンテナ付近に設置しないでください。テレビ/ラジオ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
・取り付け前に、取り付け位置で電源コードなどが接続でき、ボタン操作がしやすい位置か確認してから行ってください。
・フロントガラスへの取り付けは、道路運送車両法に基づく保安基準により設置場所が限定されています。運転者の妨げにならないよう、フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。

■ リアカメラユニット

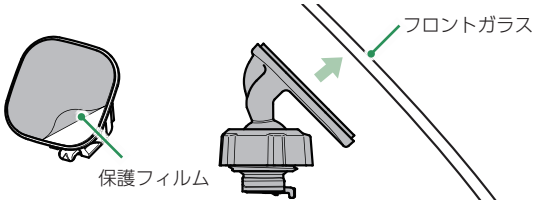
・リアガラスが可動する車両やリアガラスにフィルムを貼っている車両の場合、リアカメラユニットはリアトレイなどに取り付けてください。
・リアガラスにプライバシーガラスやフィルムを貼られている車両は、夜間や暗い場所では記録映像が見えづらくなる場合があります。
・ハイマウントストップランプの光や、後続車両のライトにより録画した映像が見えづらくなる場合があります。
・リアワイパーが装着された車両の場合、リアワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。
・ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。
・両面テープの貼り付け面がリアガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。
・ラジオアンテナ付近に本体の取り付けおよびリアカメラケーブルの配線を行うとラジオの受信感度が下がる場合があります。

1. フロントカメラユニットを取り付ける

あらかじめ、フロントガラスの汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

※ご購入時にはレンズ/ディスプレイに保護フィルムが貼られています。ご使用の際には、はがしてください。

1-1 フロントカメラ用ブラケットの両面テープから保護フィルムをはがし、フロントガラスに取り付ける

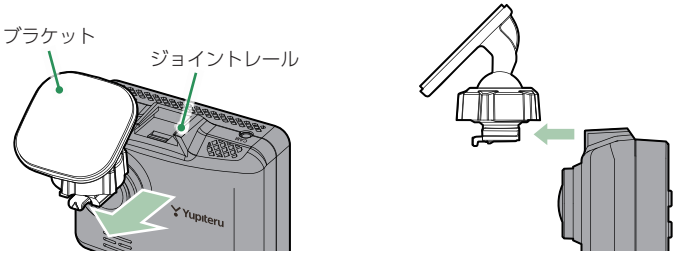


ブラケットに本体を装着したときに、電源コードが接続でき、ボタン操作がしやすい場所に取り付けてください。

■ はがれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

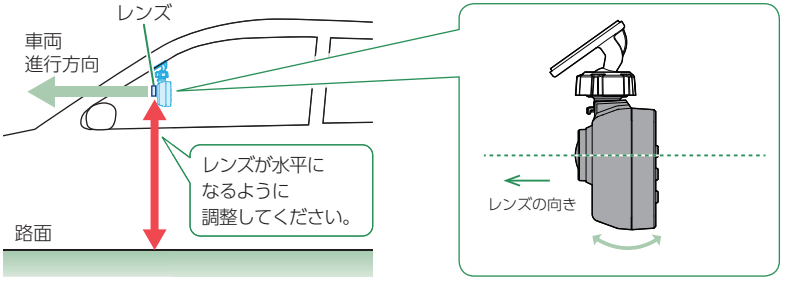
- フロントガラスの汚れ・脂分を落とすのにパーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。
- サンシェード等の日除けを使用する際は、本体をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープはがれの原因となります。
- 極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼り付けをしてください。
- 貼り直しをすると両面テープの粘着力が弱まり脱落するおそれがあります。
- 固定力を強くするために本体を取り付けず、24時間以上放置し、両面テープがしっかり貼り付くまで引っ張ったり無理な力をかけないように注意してください。
- 両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がフロントガラスに貼り付いていないとはがれることがあります。

1-2 フロントカメラ用ブラケットをフロントカメラユニットのジョイントレールに合わせ、矢印の方向にスライドさせて装着する



『カチッ』と音がするまで押し込んでください。

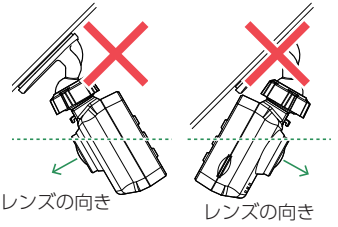
1-3 レンズの向きが車両進行方向と水平になるように調整する



※カメラレンズに触れないように取り付けてください。レンズに触れてしまうと、レンズが曇り、鮮明な映像が撮れなくなるおそれがあります。
※奥までスライドさせ、軽く本体を引っ張り、本体が外れないことを確認してください。走行中に落下するおそれがあります。

レンズの向きが車両進行方向と水平でない場合、Gセンサー記録が誤って動作することがあります。

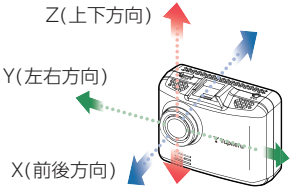
※正しくGセンサー記録を動作させるには、必ずレンズの向きが、車両進行方向と水平になるように調整してください。



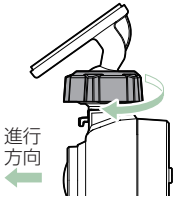
Gセンサー感度について

Gセンサー感度は右図の3方向(XYZ)で設定します。

設定範囲は0.5 G(敏感)～5.0 G(鈍感)の0.1 G単位で設定できます。(☛ P.53)



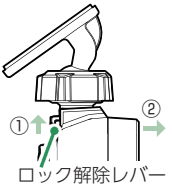
1-4 ナットを締めて固定する



■ 取り外し方法

①ロック解除レバーを持ち上げる。

②本体を矢印の方向へスライドさせる。



※確実にナットで固定してください。走行中に落下するおそれがあります。
※ナットを締めたあとは本体の向きを調整しないでください。ブラケットのジョイント部に無理な力が加わり、破損することがあります。ナットを緩めてから調整してください。
※ナットを緩める場合は、本体を回さずにナットを緩めてください。ブラケットのジョイント部に無理な力が加わり、破損することがあります。

2. リアカメラユニットを取り付ける

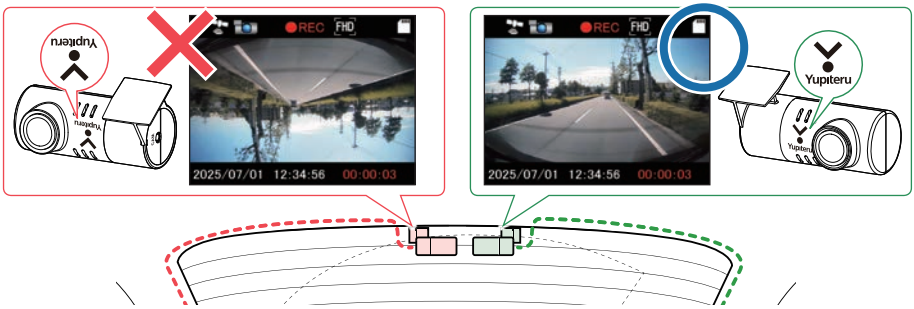
あらかじめ、リアガラスの汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

※ご購入時にはレンズに保護フィルムが貼られています。ご使用の際には、はがしてください。

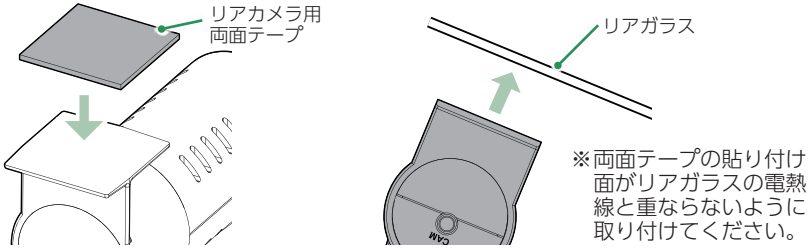
⚠ 注 意

・リアカメラユニットを接続しなくても、フロントカメラユニットのみで録画することができます。必要に応じてご使用ください。

・両面テープで取り付ける前にフロントカメラユニットで映像の確認をしてください。誤った方法で取り付けた場合、映像が上下反転します。



2-1 リアカメラ用ブラケットに付属のリアカメラ用両面テープを貼り付け、リアガラスに取り付ける



■ はがれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

・リアガラスの汚れ・脂分を落とすのにパーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。

・極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼り付けをしてください。

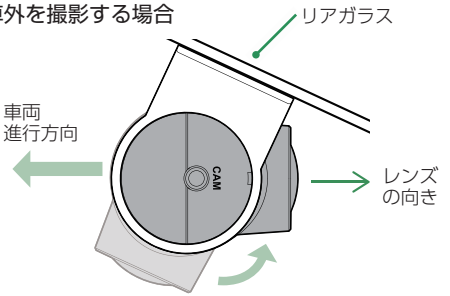
・貼り直しはテープの粘着力を弱め脱落するおそれがあります。

・固定力を強くするために本体を取り付けず、24時間以上放置し、両面テープがしっかり貼り付くまで引っ張ったり無理な力をかけないように注意してください。

・両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がリアガラスに貼り付いていないとはがれることがあります。

2-2 レンズの向きを調整する

例：車外を撮影する場合

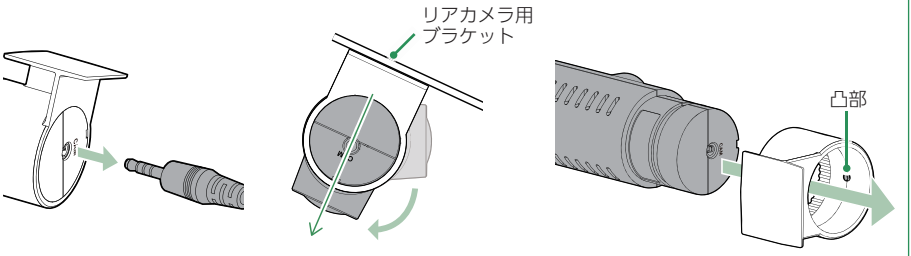


リアカメラユニットの取り外し方法

①リアカメラケーブルを取り外す。

②レンズを下図の位置まで回す。

③リアカメラユニットをリアカメラ用ブラケットから引き抜く。



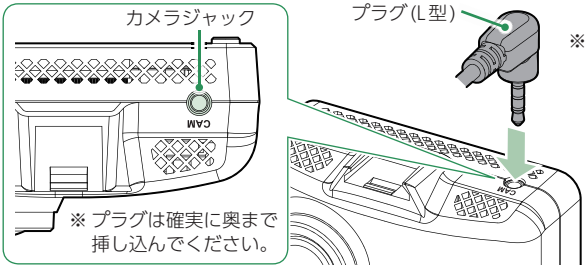
※ リアカメラ用ブラケットには凸部があり、無理に引き抜こうとすると破損の原因となります。
必ず②の位置まで回してから取り外してください。

3. リアカメラケーブルを接続する

付属のリアカメラケーブルを接続することで、リアカメラの映像も記録できます。

※リアカメラケーブルのプラグをカメラジャックの奥までしっかり挿し込んでください。プラグをしっかり挿し込まないと、リアカメラの映像を記録できない場合があります。
※プラグに無理な力を加えないでください。カメラジャック破損の原因となります。

3-1 フロントカメラユニットにリアカメラケーブルを接続する

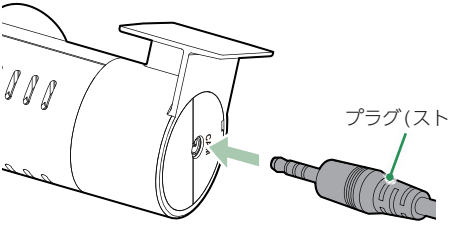


※ フロントカメラユニットにはプラグ(L型)をご使用ください。プラグ(ストレート型)を使用した場合、ケーブル接続時に負荷がかかり断線のおそれがあります。

付属のリアカメラケーブルのプラグをフロントカメラユニットのカメラジャックへ接続します。

3-2 リアカメラケーブルをリアガラスまで配線する

3-3 リアカメラユニットにリアカメラケーブルを接続する



付属のリアカメラケーブルのプラグをリアカメラユニットのカメラジャックへ接続します。

3-4 市販品の結束バンドなどを使い、リアカメラケーブルを固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

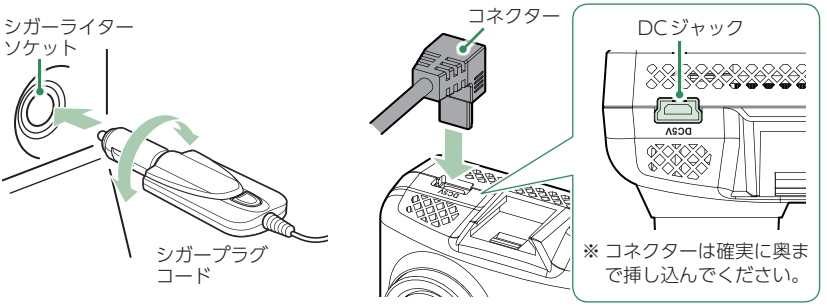
・運転やエアバック作動時の妨げとなるような場所。
・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
・直射日光の当たる場所。
・不安定な場所。
・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
・車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

4. 電源を接続する

付属のシガープラグコードを接続します。

※別売品で接続する場合は、「別売品の取り付け(☛ P.35)」を参照ください。

4-1 シガープラグコードを接続する



付属のシガープラグコードをフロントカメラユニットのDCジャックと車両のシガーライターソケットに挿し込みます。

※シガープラグコードのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- 運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- 直射日光の当たる場所。
- 不安定な場所。
- 配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- 車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
- 水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

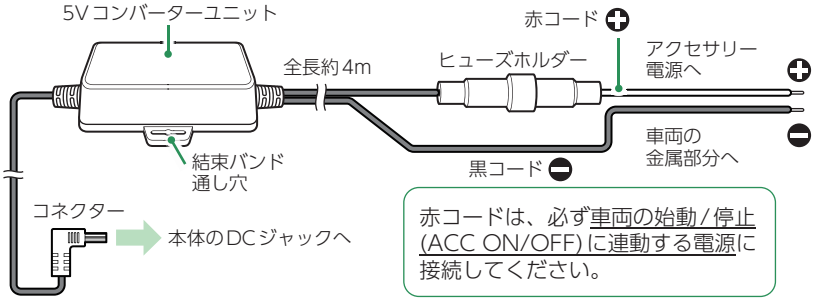
別売品の取り付け

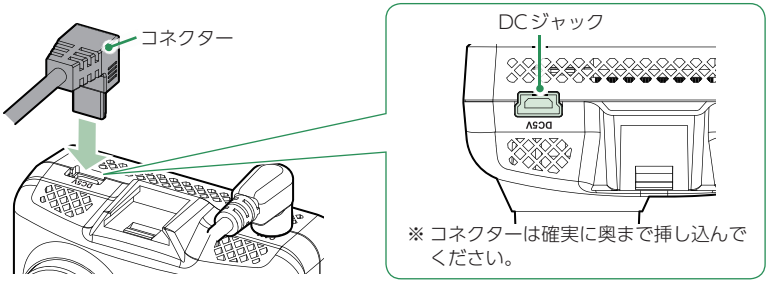
⚠ 注 意

・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
・カーナビやラジオ、オーディオなどを搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。

1. 12V/24V対応電源直結コード(OP-E1160)の接続方法

1-1 電源直結コードを接続する





別売品の12V/24V対応電源直結コード(OP-E1160)をフロントカメラユニットのDCジャックへ接続します。

※電源はDC12V/24V(マイナスアース)車対応です。
※電源直結コードのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

1-2 市販品の結束バンドや両面テープなどを使い、5Vコンバーターユニットを固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
・直射日光の当たる場所。
・不安定な場所。
・配線の噛み込みや被服の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
・車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

取り付けと配線が終了したら、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。正常に作動しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

2. 5Vコンバーター付シガープラグコード(OP-E1109)の接続方法

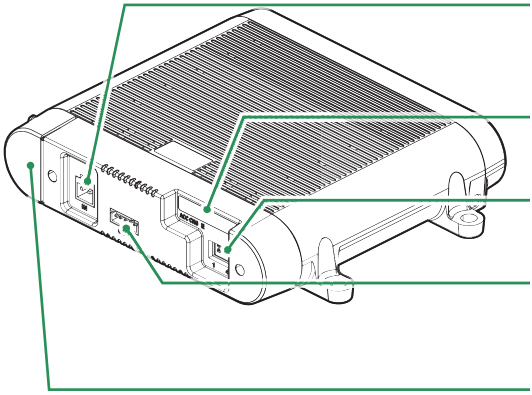
付属のシガープラグコードと同様の取り付け方法になります。
詳細は ☛ P.34を参照ください。

3. マルチバッテリー(OP-MB4000Ⅱ)の接続方法

⚠ 注 意

・OP-MB4000Ⅱを3ヶ月以上使用しない場合は、電源コネクターを外してください。そのまま放置した場合、内蔵電池が完全放電し使用できない状態になることがあります。
※ 電源コネクターを外した場合でも接続する機器への電源供給は行えます。
・ディップスイッチを操作できる場所へ取り付けてください。

■ OP-MB4000Ⅱ



入力端子(DC12V)
OP-MB4000Ⅱ付属の入力コードを接続します。

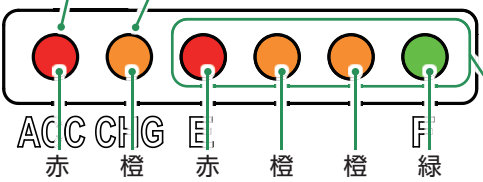
表示ランプ
給電・充電・電池残量をランプで表示します。

ディップスイッチ
オフタイマー設定に使用します。

出力端子(DC12V)
OP-MB4000Ⅱ付属の出力コードを接続します。

電源コネクター

■ 表示ランプについて



本体給電中に点灯、放電中に低速点滅します。

充電中に点灯、動作温度範囲外で充電を停止し低速点滅します。
※ 高速点滅した場合は電池異常のためすぐに使用を中止してください。

電池残量をランプの点灯数で表示します。
※ 車両停止(ACC OFF)後、5秒間点灯します。
※ 約3時間で満充電になります。

■ OP-MB4000Ⅱ接続時に必要なもの

①OP-MB4000Ⅱ　②OP-MB4000Ⅱ付属入力コード　③OP-MB4000Ⅱ付属出力コード
④12V/24V対応電源直結コード(OP-E1160)　⑤市販品接続端子(ギボシ端子など)
※付属のシガープラグコードは使用しません。

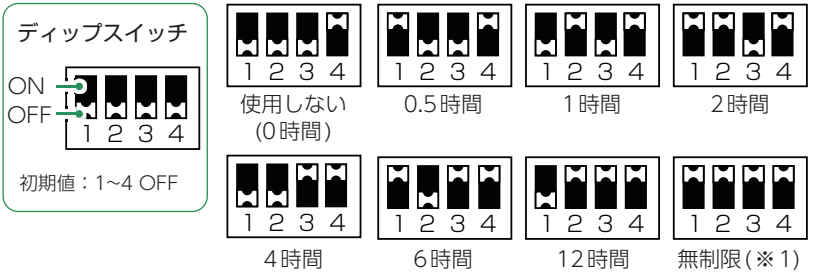
3-1 オフタイマーを設定する

車両停止(ACC OFF)後、OP-MB4000Ⅱの内蔵電池から電源供給する時間を、ディップスイッチで設定(オフタイマー設定)します。

※お買い上げ時(工場出荷時)のままでは、使用できません。車両停止(ACC OFF)時にディップスイッチの操作を行ってください。車両始動(ACC ON)した際に設定が反映されます。

※ディップスイッチのON/OFFは、先の細いつまようじなどで行ってください。

■ オフタイマー設定



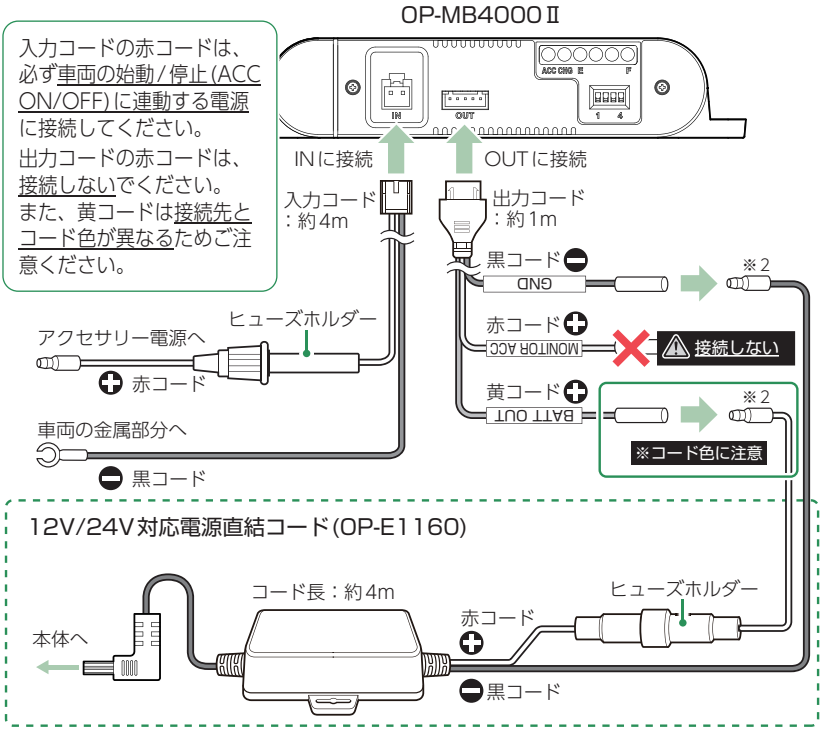
※1：電池残量がなくなるまで電源を供給します。

⚠ 注 意

・オフタイマー設定に関係なく、使用状況(使用機種/接続状態/充電状態/設置環境等)により電源供給できる時間は変化します。また、OP-MB4000Ⅱの内蔵電池が少なくなった場合には電源供給を自動的に停止します。

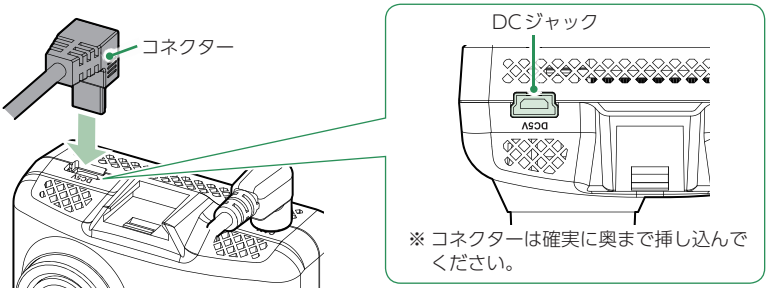
・オフタイマー設定を「使用しない(0時間)」に設定した場合、駐車記録は行いません。OP-MB4000Ⅱの内蔵電池を満充電したい場合や駐車記録を行わない場合などに設定してください。

3-2 OP-MB4000Ⅱを車両に接続する



※2：あらかじめ市販品の接続端子を取り付けてください。

3-3 電源直結コードを接続する

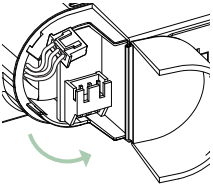


別売品の12V/24V対応電源直結コード(OP-E1160)をフロントカメラユニットのDCジャックへ接続します。

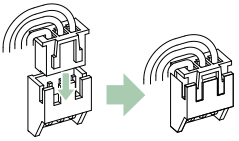
※電源直結コードのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

3-4 電源コネクターを接続する

①カバーを開ける

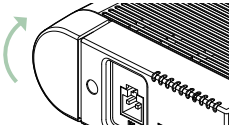


②電源コネクターを接続する



※奥まで確実に挿し込んでください。

③カバーを閉じる



※「カチッ」と音が鳴るまで閉めてください。

3-5 OP-MB4000Ⅱ付属の面ファスナーや市販品の結束バンドなどで固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
・直射日光の当たる場所。
・不安定な場所。
・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
・車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。
・ディップスイッチの操作ができない場所。

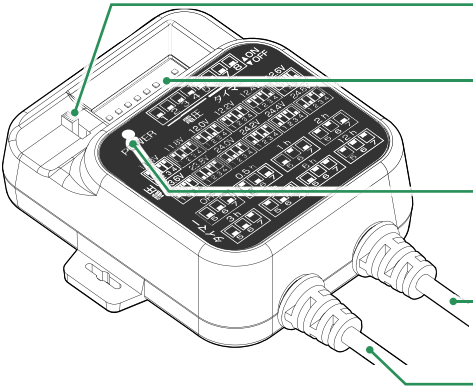
取り付けと配線終了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。
正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

4. 駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5M)の接続方法

⚠ 注 意

- 2日以上使用しない場合は、駐車記録スイッチをOFFにしてください。車両バッテリー上がりの原因となります。
  ※ 駐車記録スイッチをOFFにした場合でも接続する機器への電源供給は行えます。
- ディップスイッチを操作できる場所へ取り付けてください。
- 車両バッテリーの電源を使用するため、車両バッテリーに負担が生じます。毎日1時間以上走行しない、または1年以上同じバッテリーをご使用の場合はバッテリーが上がるおそれがあります。車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いません。

■ OP-VMU5M



4-1 OP-VMU5Mを車両に接続する

入力コードの黄コードは、必ず車両の始動/停止(ACC ON/OFF)に関係無く常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続し、入力コードの赤コードは必ず車両の始動/停止(ACC ON/OFF)に連動する電源に接続してください。

OP-VMU5M

本体へ

出力コード
約3.4m

バッテリー電源へ(+B)

黄コード

ヒューズホルダー

アクセサリー電源へ(ACC)

赤コード

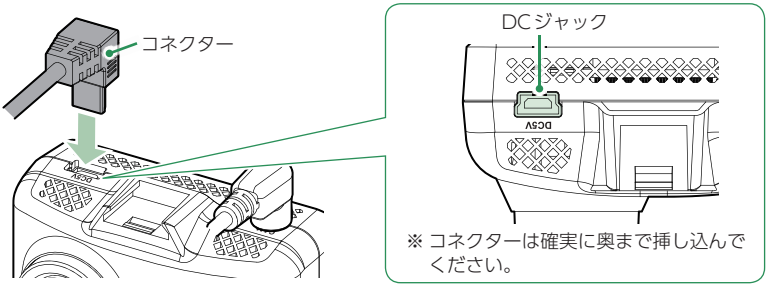
ヒューズホルダー

入力コード
約2m

車両の金属部分へ(GND)

黒コード

4-2 出力コードを接続する



※ コネクターは確実に奥まで挿し込んでください。

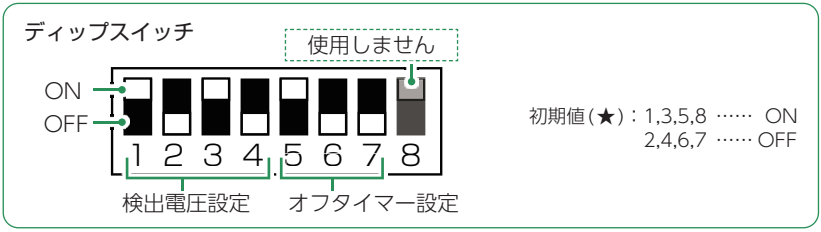
出力コードをフロントカメラユニットのDCジャックへ接続します。

※出力コードのコネクターは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

4-3 検出電圧設定とオフタイマー設定をする

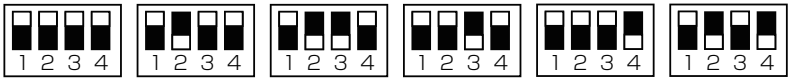
車両停止(ACC OFF)後、車両のバッテリーが設定したバッテリー電圧以下になると、車両のバッテリーから電源供給を停止する検出電圧設定と、車両停止(ACC OFF)後、設定した時間になると車両のバッテリーから電源供給を停止するオフタイマー設定があります。

※ディップスイッチのON/OFFは、先の細いつまようじなどで行ってください。



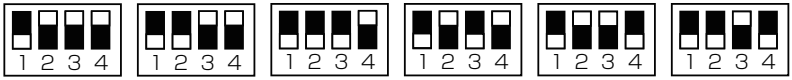
■ 検出電圧設定(1～4使用)

12V車



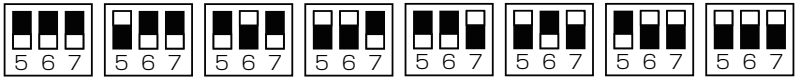
11.6V　11.8V　12.0V　12.2V　12.4V　12.6V(★)

24V車



23.6V　23.8V　24.0V　24.2V　24.4V　24.6V

■ オフタイマー設定(5～7使用)

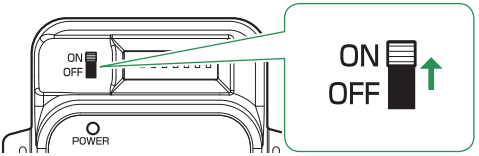


OFF(0時間)　0.5時間(★)　1時間　2時間　3時間　4時間　6時間　12時間

⚠ 注 意

- ディップスイッチの[8]は使用しません。初期値(ON)のまま変更しないでください。
- オフタイマー設定に関係なく、検出電圧設定以下になった場合には車両のバッテリーからの電源供給を停止します。
- オフタイマー設定を「OFF(0時間)」に設定した場合、駐車記録は行いません。駐車記録を行わない場合などに設定してください。

4-4 駐車記録スイッチをONにする



4-5 OP-VMU5M付属の両面テープなどで固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
・直射日光の当たる場所。
・不安定な場所。
・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
・車両の電装機器(アンテナ等含む)などの近く。
・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。
・ディップスイッチの操作ができない場所。

取り付けと配線終了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。
正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

4-6 自動駐車モード切替を[ON]にする(☛ P.53)

※[OFF]では車両停止(ACC OFF)時に、駐車記録モード(タイムラプス)に自動で切り替わりません。
※[ON/OFF]に関係なく、検出電圧設定/オフタイマー設定は機能します

電源ON ～ OFFまでの手順

ご購入後、初期値のまま使う場合は下記手順に沿って操作の確認をお願いします。

車両始動
(ACC ON)

1 録画開始 ▶ 2 録画停止 ▶ 3 録画再開 ▶ 4 ワンタッチ記録 ▶ 5 音声録音 ▶ 6 画面切替 ▶ 7 録画終了

車両停止
(ACC OFF)

※付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ずフォーマットしてください。フォーマットしない場合、録画がうまくできない・録画可能時間が減少するなどの原因になります。

1. 電源ON(録画を開始する)

本機は、車両の始動(ACC ON)に連動して録画を開始します。

1-1 SDカードが挿入されていることを確認する

・SDカードが挿入されていないときは…
電源OFF後、電源ランプが3秒以上消灯したことを確認して、SDカードを挿入してください。

☛ P.18「SDカードの取り外し/装着」

1-2 車両を始動(ACC ON)する

・電源ランプについて

ランプの状態	本体の動作
赤色の点灯	録画中
赤色の点滅	録画以外の動作
消灯	電源OFF

録画を開始します。
電源ランプが点灯、記録マークが「●REC」(赤)になります。
GPSを測位すると、アイコンを表示し、GPS情報を取得します。
※GPS情報を取得すると、自動的に日時を調整します。
※GPSの測位に失敗すると、アイコンを表示します。

・録画開始までの時間について
本体の状態によって録画開始まで、数秒から最大40秒かかる場合があります。電源ランプの状態を確認してから走行を開始してください。

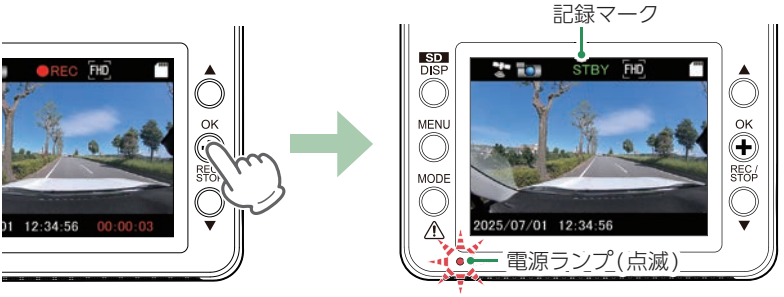
・SDカードチェック機能について
SDカードの破損や不具合を見つけたらお知らせします。(☛ P.70)

・GPS測位について
購入後、初めて使用する場合、障害物や遮へい物のない見通しの良い場所で10分～20分程度通電状態にし、GPSの電波を受信(測位)させます。

2. 録画を停止する

※タイムラプス中は、録画を停止することはできません。OK(+)ボタンを3秒以上長押しして
タイムラプスを終了してから行ってください。

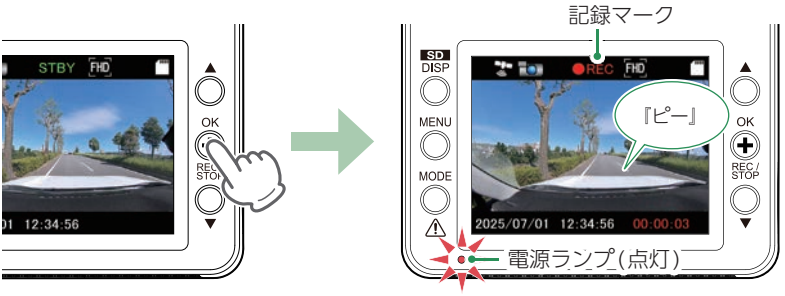
2-1 録画中に、OK(+)ボタンを押す



録画を停止します。
録画停止中は、電源ランプが点滅、記録マークが「STBY」(緑)と表示されます。

3. 録画を再開する

3-1 録画停止中に、OK(+)ボタンを押す



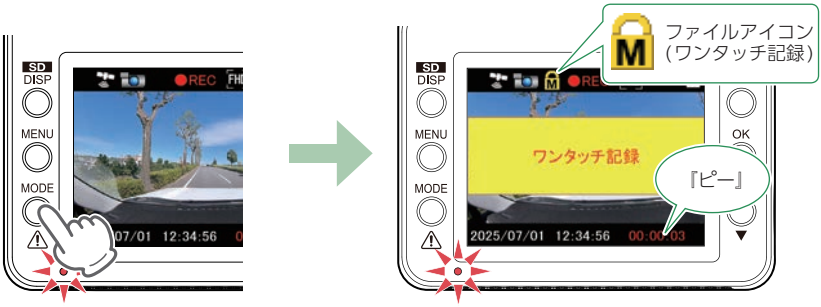
録画を再開します。
設定メニューの場合は☛ P.51、再生モードの場合は☛ P.59を参照ください。

4. ワンタッチ記録をする

本機は、録画中にMODEボタンを押すと、ワンタッチ記録ファイルを生成します。

※タイムラプス中は、ワンタッチ記録することはできません。OK(+)ボタンを3秒以上長押ししてタイムラプスを終了してから行ってください。

4-1 録画中に、MODEボタンを押す



ファイルアイコンが点灯し、ワンタッチ記録ファイルを生成します。

※ワンタッチ記録ファイル生成後は、自動で常時録画へ戻ります。

※ワンタッチ記録の詳細は ☛ P.22を参照ください。

5. 音声録音をON/OFFする

録画中にMENUボタンを押すと、音声録音のON/OFFを変更することができます。

※録画設定の「音声録音」でON/OFFを変更することもできます。(☛ P.53)

5-1 録画中に、MENUボタンを押す

音声録音：ON　　音声録音：OFF

MENUボタンを押すたびに、音声録音のON/OFFが変更できます。

※タイムラプス中は、音声録音OFFアイコンを表示します。

6. 画面表示を切り替える

SD/DISP ボタンを押すと、画面表示をフロント / リアで切り替えることができます。

6-1 SD/DISP ボタンを押す

フロント

リア

SD/DISP ボタンを押すたびに、画面表示が切り替わります。

⚠ 注 意

・リアカメラユニットの表示映像は鏡像(ルームミラー越しの見え方)、記録映像は正像となります。
・正像 / 鏡像の表示切替はできません。あらかじめご了承ください。

7. 電源 OFF(録画を終了する)

本機は、車両の停止(ACC OFF)に連動して録画を終了します。

7-1 車両を停止(ACC OFF)する

録画が停止し、電源 OFF になります。

駐車記録用に別売品を接続している場合は下記ページを参照ください。

A：別売品のマルチバッテリー(OP-MB4000Ⅱ)…… ☛ P.49
B：別売品の駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5M)接続時…… ☛ P.50

A：別売品のマルチバッテリー（OP-MB4000Ⅱ）接続時

A-1 車両を停止（ACC OFF）する

・駐車記録とは…
車両停止（ACC OFF）状態で駐車中に記録を行うこと。

別売品（OP-MB4000Ⅱ）から電源供給して録画を継続し、駐車記録を行います。
※別売品（OP-MB4000Ⅱ）の設定によっては電源OFFします。

A-2 OK(+)ボタンを、３秒以上長押しする

タイムラプスで駐車記録を開始します。
記録マークが「STBY」（緑）から「●REC」（橙と赤）になります。
※タイムラプス中はGPSの位置情報/Gセンサー情報/音声は記録しないため（音声録音OFF）/（GPS非測位時）アイコンを表示します。

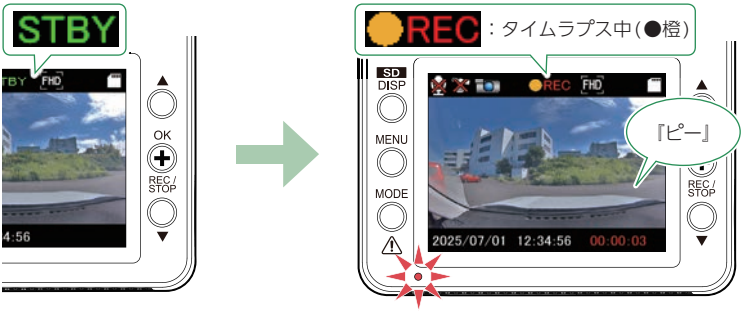
A-3 車両を始動（ACC ON）する

別売品（OP-MB4000Ⅱ）からの電源供給が継続している場合、録画をタイムラプスで継続して行います。OK(+)ボタンを３秒以上長押ししてタイムラプスを終了してください。終了後、自動で録画を開始します。
※別売品（OP-MB4000Ⅱ）からの電源供給が停止している場合、通常の録画を開始します。

B：別売品の駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5M)接続時

※自動駐車モード切替(☛ P.53)を[ON]に変更してください。自動駐車モード切替[OFF]の場合、自動でタイムラプスへ移行しません。(自動駐車モード切替：初期値[OFF])

B-1 車両を停止(ACC OFF)する



別売品(OP-VMU5M)から電源供給し、自動でタイムラプスへ移行して駐車記録を開始します。

※別売品(OP-VMU5M)の設定によっては電源OFFします。

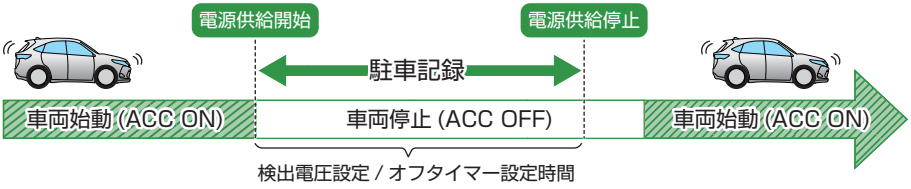
※タイムラプス中はGPSの位置情報/Gセンサー情報/音声は記録しないため(音声録音OFF)/(GPS非測位時)アイコンを表示します。

B-2 車両を始動(ACC ON)する

別売品(OP-VMU5M)からの電源供給が継続している場合、タイムラプスから通常録画に切り替わり継続して録画を行います。

※別売品(OP-VMU5M)からの電源供給が停止している場合も通常の録画を開始します。

■ 駐車記録時の動作



検出電圧設定、またはオフタイマー設定により駐車記録を停止します。(☛ P.38、43)

※マルチバッテリー(OP-MB4000Ⅱ)はオフタイマー設定のみになります。

※強制的に駐車記録を停止する場合は、フロントカメラユニットのDCジャックから電源コードを取り外してください。(☛ P.11)

設定メニューの表示方法

※タイムラプス中は、設定を行うことはできません。OK(+)ボタンを3秒以上長押ししてタイムラプスを終了してから行ってください。

1. 設定メニューを表示する

1-1 録画停止中に、MENUボタンを押す

＜設定メニュー（録画設定）＞

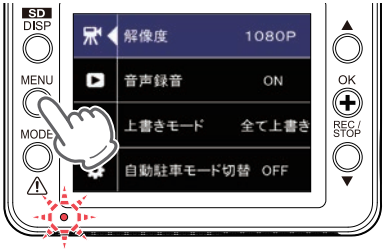
設定メニューを表示します。
録画中の場合はOK(+)ボタンを押して録画を停止してください。

※MODEボタンを押すたびに、「録画設定」→「再生設定」→「SDカード」→「共通設定」に変更できます。（☛ P.52）

2. 録画を再開する

設定完了後は、下記の手順で録画を再開します。

2-1 設定メニューで、MENUボタンを押す



動画記録モードを表示します。

2-2 OK(+)ボタンを押す

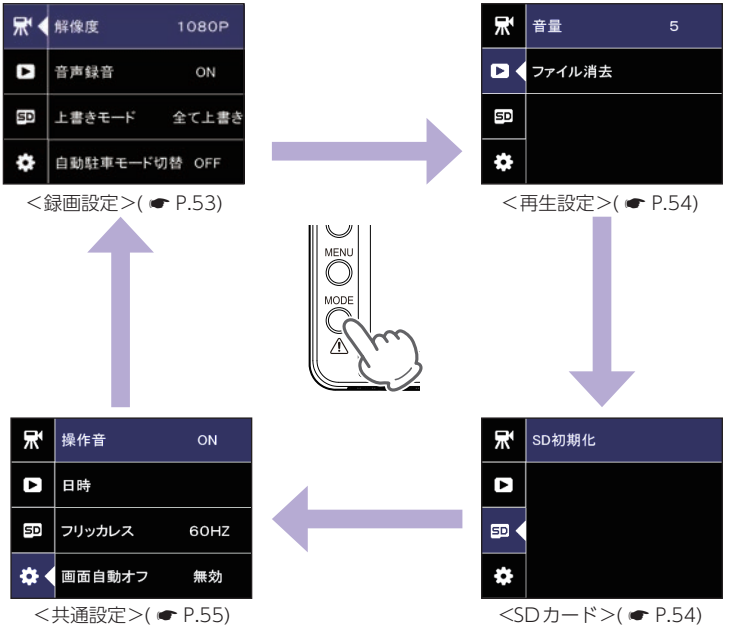
録画を開始します。

設定メニュー

■ 設定メニュー時のボタンの機能

ボタン	機　能	
SD/DISP ボタン	—	使用しません。
MENU ボタン	短押し	前の画面へ戻ります。
MODE ボタン	短押し	押すたびに、[録画設定]→[再生設定]→[SDカード]→[共通設定]に切り替わります。
▲ボタン	短押し	設定項目を選択したり、値を増加します。
OK(+) ボタン	短押し	項目や設定値を決定します。
▼ボタン	短押し	設定項目を選択したり、値を減少します。

設定メニュー画面で、MODEボタンを押すと設定項目を切り替えることができます。



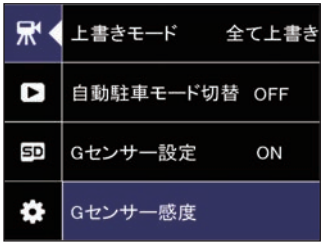
<録画設定>(☛ P.53)　<再生設定>(☛ P.54)

<共通設定>(☛ P.55)　<SDカード>(☛ P.54)

1. 録画設定

動画記録モードの設定を確認または変更します。

※設定メニューの表示方法は ☛ P.51 を参照ください。



★は初期値です。

項　目	設　定	説　明
解像度	1080P (1920 x 1080) (★) ／ 720P (1280 x 720)	フロントカメラの解像度を選択します。 ※ リアカメラの解像度は [1080P] で固定です。 ※ 変更する場合、フォーマットが必要になります。
音声録音	ON (★) ／ OFF	動画と同時に音声も録音するかON/OFF で設定します。 ※ 録画中にMENUボタンを押すことでも変更することができます。(☛ P.47)
上書きモード	上書き禁止 ／ 常時録画上書 ／ 全て上書き (★)	詳細は ☛ P.24「上書きモード」を参照ください。
自動駐車モード切替 ※1※2※3	ON ／ OFF (★)	[ON] で車両停止 (ACC OFF) 時に自動で駐車記録モード (タイムラプス) へ移行します。また、車両始動 (ACC ON) で駐車記録モード (タイムラプス) を自動で終了します。
Gセンサー設定	ON (★) ／ OFF	Gセンサー記録を行うかON/OFF で設定します。
Gセンサー感度	X：0.5 ～ 5.0G (1.0G★) Y：0.5 ～ 5.0G (1.0G★) Z：0.5 ～ 5.0G (1.0G★)	X (前後方向)、Y (左右方向)、Z (上下方向) の衝撃感度を0.1Gステップで個別に設定します。 感度は、数字が小さくなると「敏感」になり、数字が大きくなると「鈍感」になります。

※1：使用には別売品の駐車監視用 電源直結コード (OP-VMU5M) が必要になります。
※2：[ON] 時はボタン操作による駐車記録モード (タイムラプス) は無効になります。
※3：[ON] 時は録画停止 / メニュー / 再生モード時でも車両停止 (ACC OFF) から約3分間操作しない場合は、自動で駐車記録モード (タイムラプス) へ移行します

2. 再生設定

再生モードの設定を確認または変更します。

※設定メニューの表示方法は ☛ P.51 を参照ください。

★は初期値です。

項　目	設　定	説　明
音量	0 ／ 1 ／ 2 ／ 3 ／ 4 ／ 5(★)	本機の音量を設定します。0(ミュート)<1(小)<2<3<4<5(大) ※ 音量は操作音、常時録画/イベント記録開始時の音、メッセージの音、録画ファイル再生音に反映されます。 ※ 音量を個別に設定することはできません。
ファイル消去※4 (☛ P.61)	1 つ消去 ／ 全消去	録画ファイルを消去します。 1 つ消去：個別に消去します。 全消去　：フォルダごとに消去します。

※4：フロントカメラまたはリアカメラのどちらかの録画ファイルを消去した場合、もう一方の対になる録画ファイルも一緒に消去されます。あらかじめご了承ください。

3. SD カード

SD カードを初期化(フォーマット)します。

※設定メニューの表示方法は ☛ P.51 を参照ください。

項　目	設　定	説　明
SD 初期化 (☛ P.56)	戻る ／ 実行	SD カードを初期化(フォーマット)します。 ※ 録画ファイルがすべて消去されます。

4. 共通設定

本機の全モード共通の設定を確認または変更します。

※設定メニューの表示方法は ☛ P.51 を参照ください。

★は初期値です。

項　目	設　定	説　明
操作音	ON(★) ／ OFF	操作時に音を鳴らすかON/OFFで設定します。
日時	―	日付や時刻を設定します。 ※ 手動で設定した場合でもGPSの日時情報が優先され、変更されます。
フリッカレス	50Hz ／ 60Hz(★)	使用している地域の商用周波数に合わせてください。 東日本：50Hz、西日本：60Hz
画面自動オフ	無効 ／ 1分(★) ／ 3分	設定時間が経過すると、画面表示を自動的にOFFします。 画面を表示させる場合は、いずれかのボタンを押してください。
設定初期化	戻る ／ 実行	本機をご購入時の設定に戻します。 ※ 実行後、再起動します。
バージョン	―	ファームウェアのバージョンを表示します。

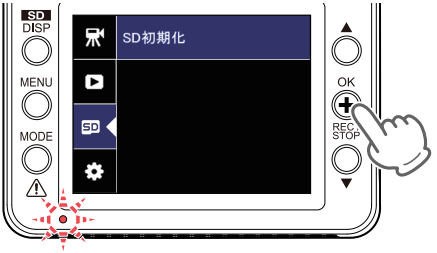
SD初期化(フォーマット)

付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ず本機でフォーマットしてください。

※フォーマットを行うと、録画ファイルがすべて消去されます。必要に応じてパソコンなどにバックアップしてからフォーマットしてください。
※SD/DISPボタンでフォーマットする方法は ☛ P.12「SDカードをフォーマットする」を参照ください。
※SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書込み可能回数など製品寿命があります。
※容量が大きいSDカードをフォーマットする場合、フォーマット完了までに数分間かかることがあります。あらかじめご了承ください。

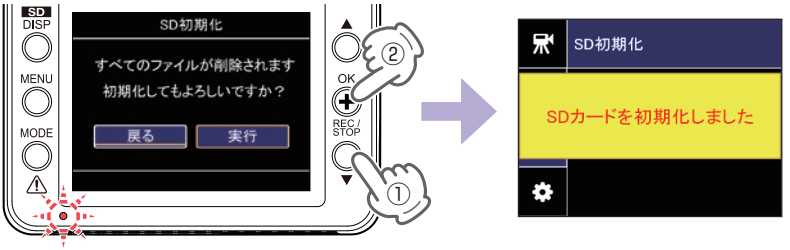
1. SDカードをフォーマットする

1-1 SDカードの[SD初期化]を選択し、OK(+)ボタンを押す



・SDカードの表示方法は…
☛ P.51「設定メニューを表示する」

1-2 [実行]を選択し、OK(+)ボタンを押す



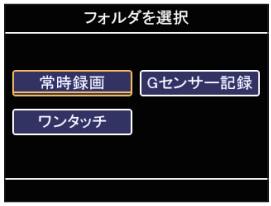
フォーマットを開始します。
「SDカードを初期化しました」と表示し、SDカード画面へ戻ります。

再生モードの表示・再生方法

※タイムラプス中は、再生を行うことはできません。OK(+)ボタンを3秒以上長押ししてタイムラプスを終了してから行ってください。

1. 再生モードを表示する

1-1 録画停止中に、MODEボタンを押す



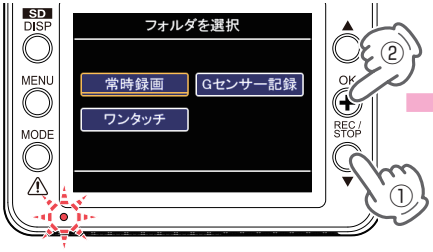
<フォルダ選択画面>

再生モードのフォルダ選択画面を表示します。
録画中の場合はOK(+)ボタンを押して録画を停止してください。

※MODEボタンを押すたびに、「動画記録モード」→「再生モード」にモード変更します。
※常時録画(常時録画/タイムラプス)、Gセンサー記録(Gセンサー記録)、ワンタッチ(ワンタッチ記録)

2. 本機で録画ファイルを再生する

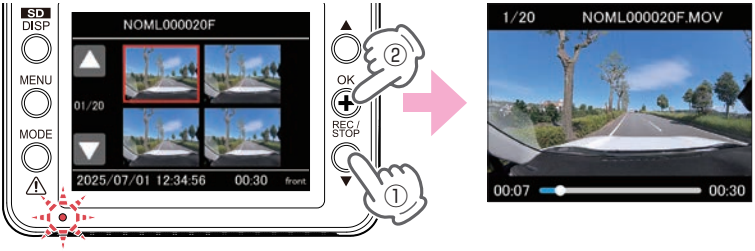
2-1 再生したいフォルダを選択し、OK(+)ボタンを押す



<ファイル選択画面>(フロント)

ファイル選択画面を表示します。

2-2 再生したい録画ファイルを選択し、OK(+)ボタンを押す



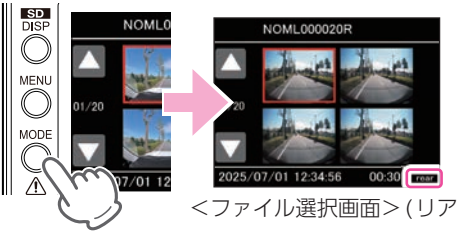
録画ファイルが再生します。

再生時のボタン機能は ☛ P.60 を参照ください。

※ファイルがない場合、ファイル選択画面上に「ファイルがありません」と表示します。
※動画は1ファイル単位(約30秒間)で記録されています。
※1ファイルの再生が終了すると、ファイル選択画面に戻ります。本機上で、複数ファイルの連続再生はできません。

リアカメラの録画ファイルを選択したい場合は、ファイル選択画面でMODEボタンを押してください。

※リアカメラのファイル選択画面の右下には「rear」、フロントカメラの選択画面の右下には「front」と表示されます。

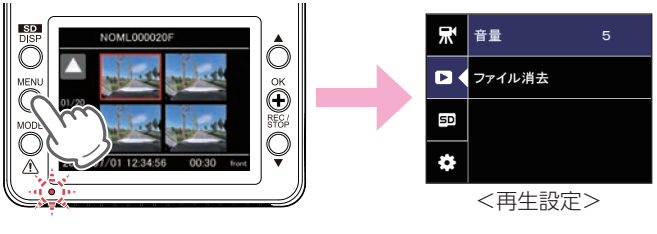


<ファイル選択画面>(リア)

再生モード中の設定メニューについて

再生モードのファイル選択画面でMENUボタンを押すと再生設定を表示できます。

※ 再生モード中の設定メニューは、「再生設定」のみ表示されます。他の設定を行う場合は動画記録モードから行ってください。(☛ P.51)



<再生設定>

3. 録画を再開する

再生後は、下記の手順で録画を再開します。

3-1 再生時に、MODEボタンを押す

<ファイル選択画面>(フロント)

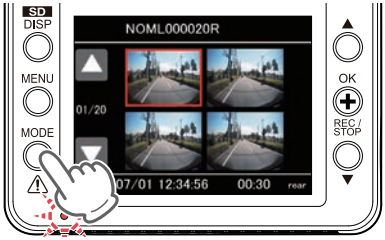
フロントカメラのファイル選択画面を表示します。

3-2 MODEボタンを押す

<ファイル選択画面>(リア)

リアカメラのファイル選択画面を表示します。

3-3 MODEボタンを押す



<動画記録モード>

動画記録モードを表示します。

3-4 OK(+)ボタンを押す

録画を再開します。

再生モード

再生モードでは、録画ファイルを本体で再生できます。

※再生モードの表示方法は ☛ P.57 を参照ください。

No.	表示名	説　明
①	記録ファイル数	再生ファイル / ファイル総数を表示します。
②	再生アイコン	一時停止中に表示します。 ※ 再生中は表示しません。
③	再生時間(現在)	ファイルの現在時間とタイムラインを表示します。
④	再生時間(全体)	ファイルの全体時間を表示します。
⑤	ファイル名	再生中の録画ファイルのファイル名を表示します。(☛ P.68)

■ 再生モード時のボタンの機能

ボタン	動　作	機　能	
SD/DISPボタン	ファイル再生時	短押し	押すたびに画面表示をフロント / リアで切り替えます。
MENUボタン	ファイル選択時	短押し	設定メニューを表示します。(☛ P.58)
MODEボタン	ファイル選択時	短押し	フロントカメラのファイル選択時は、リアカメラのファイル選択画面を表示します。 リアカメラのファイル選択時は、動画記録モードへ切り替わります。
	ファイル再生時	短押し	前の画面に戻ります。
▲ボタン	ファイル選択時	短押し	前のファイルを選択します。
	ファイル再生時	短押し	前のファイルに移動します。
OK(+)ボタン	ファイル選択時	短押し	選択を決定します。
	ファイル再生時	短押し	再生、一時停止します。
▼ボタン	ファイル選択時	短押し	次のファイルを選択します。
	ファイル再生時	短押し	次のファイルに移動します。

ファイル消去

※フロントカメラまたはリアカメラのどちらかの録画ファイルを消去した場合、もう一方の対になる録画ファイルも一緒に消去されます。あらかじめご了承ください。

1. 録画ファイルを消去する

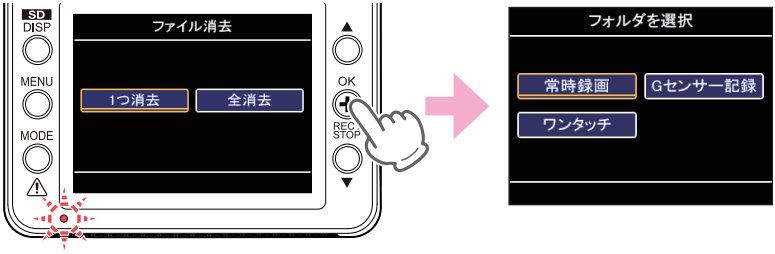
■ 個別で消去する場合

1-1 再生設定の[ファイル消去]を選択し、OK(+)ボタンを押す

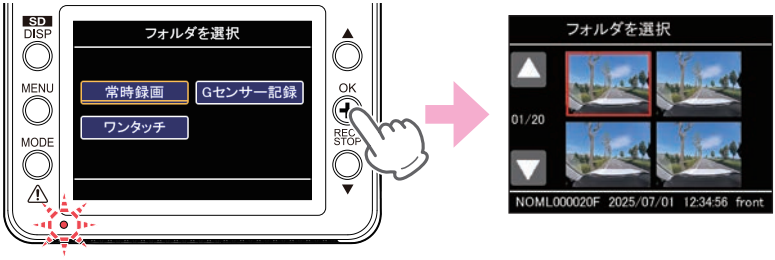
・再生設定の表示方法は…

☛ P.51「設定メニューを表示する」
☛ P.58「再生モード中の設定メニューについて」

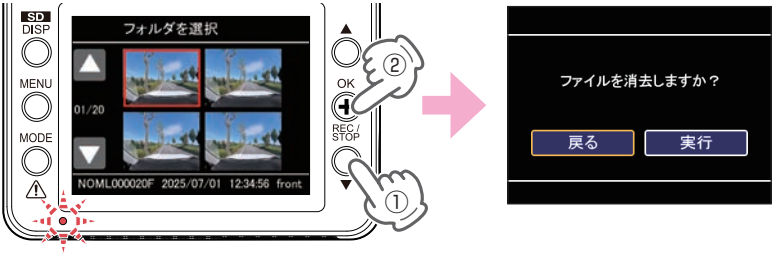
1-2 [1つ消去]を選択し、OK(+)ボタンを押す



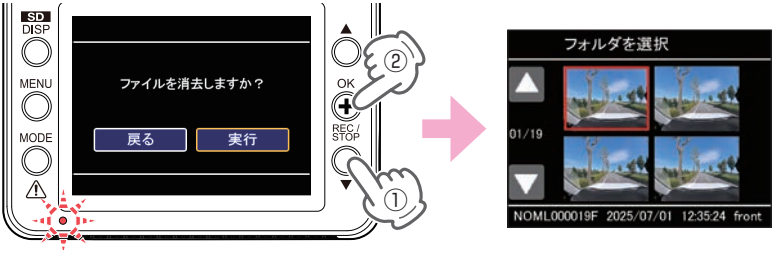
1-3 消去したい録画ファイルがあるフォルダを選択し、OK(+)ボタンを押す



1-4 消去したい録画ファイルを選択し、OK(+) ボタンを押す



1-5 [実行] を選択し、OK(+) ボタンを押す



録画ファイルを消去し、ファイル選択画面に戻ります。

- フォルダ内すべての録画ファイルを消去する場合は、手順「1-2」(☛ P.61) で [全消去] を選択してください。フォルダ内の録画ファイルがすべて消去されます。
- SDカード内の録画ファイルをすべて消去する場合は、SDカードのフォーマットを行ってください。(☛ P.12、54)

専用ビューアソフトで再生する

本機で録画した映像は、パソコンに専用ビューアソフト「PCViewer DRY TypeK」をインストールすることにより、Googleマップと連動させて表示することができます。

1. 準備する

弊社ホームページより専用ビューアソフトをダウンロードし、インストールを行ってください。（https://www.yupiteru.co.jp/download/update/dry_type_k.html）
下記の仕様を満たしたパソコンで再生できます。

OS	Microsoft Windows 11、10
CPU	Intel Core i3相当、2.7GHz以上
RAM	4GB 以上

（2025年7月現在）

※対応OSや動作環境に関する最新情報は、弊社ホームページをご確認ください。
※推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
※CPU性能やRAMの状態、他アプリケーションの同時作動等の環境の起因によって動画再生のコマ落ち等の不具合が起こる場合があります。
※誤って専用ビューアソフトを削除した場合、またはOSやシステムのアップデートにより正常に動作しなくなった場合は、弊社ホームページより最新の専用ビューアソフトをダウンロードしてください。
※WindowsのアップデートやGoogleマップの仕様変更などにより、専用ビューアソフトで地図が表示できないなど、正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

2. 専用ビューアソフトを起動する

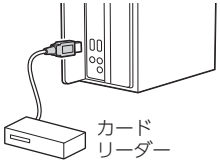
2-1 デスクトップにある[PCViewer DRY TypeK]アイコンをクリックする

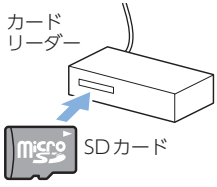
・専用ビューアソフトの詳細は…
☛ P.65「専用ビューアソフト」

専用ビューアソフトが起動します。

3. 録画ファイルを再生する

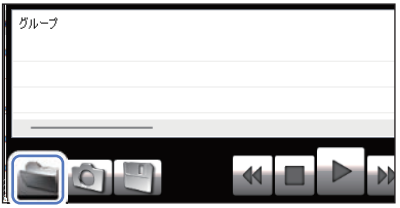
3-1 カードリーダーをパソコンに接続し、SDカードをカードリーダーに接続する



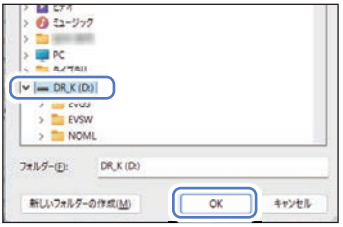


※SDカードを直接接続できるパソコンの場合は、カードリーダーを接続する必要はありません。

3-2 をクリックする



3-3 接続したSDカードを選択し、[OK]をクリックする

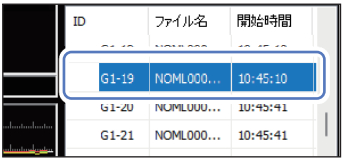


・フォルダ名について
(☛ P.68)

日付が古い録画ファイルから自動で再生します。
SDカードを選択すると、すべてのデータが選択され、録画開始から録画終了までのファイルを1つのグループとして専用ビューアソフトに表示されます。

※各フォルダを選択すると、各フォルダのデータのみが選択され、専用ビューアソフトに表示されます。

3-4 再生したい録画ファイルをダブルクリックする



・専用ビューアソフトの詳細は…
(☛ P.65)

選択した録画ファイルを再生します。

4. 専用ビューアソフトを終了する

4-1 専用ビューアソフト右上の をクリックする

専用ビューアソフトが終了します。

専用ビューアソフト

専用ビューアソフトでは、映像の再生や自車位置、Ｇセンサーグラフ等を表示できます。

※自車位置の表示にはインターネット接続環境が必要です。

1. 専用ビューアソフトの画面について

No	表示名	説　明
①	フロントカメラ映像ウィンドウ	映像を表示します。 ダブルクリックで映像の全画面表示／プレーヤ内表示を切り替えます。 ※ 電源OFF時やアイドリングストップ時などに、リアカメラの映像が黒画面になることがありますが故障ではありません。あらかじめご了承ください。
②	リアカメラ映像ウィンドウ	
③	Ｇセンサーグラフ	映像ファイルに埋め込まれているＧセンサーデータをＸ軸、Ｙ軸、Ｚ軸でグラフ表示します。

No	表示名	説　明	
④	グループ表示	選択グループのファイルをダブルクリックで再生開始します。 イベント記録があるグループにはアイコンを表示します。 (:Gセンサー記録、:ワンタッチ記録、:Gセンサー＋ワンタッチ記録) ① グループ：PCビューア内リストNo表示　G0･･･ ※ 録画開始から録画終了までを１つのグループとして表示します。 ② フロントカメラ解像度：1080P HD、720P ③ 開始時間：年月日 記録開始時間を表示 ④ 時間：録画時間(秒) ⑤ ファイルサイズ：(MB)	
⑤	ファイルの読み込み	「フォルダーの選択」ウィンドウが開き、読み込みたいフォルダを選択します。	
	画面の保存	再生中、一時停止中の映像から静止画(JPEGまたはPNGファイル)に変換して保存します。	
	ファイルのコピー	「グループ表示」グループ項目にて、チェックボックスにチェックを入れたグループの録画ファイルを一括コピーします。	
⑥	動画の操作	再生ボタン/ 一時停止	録画ファイルを再生/一時停止します。
		停止ボタン	再生中の録画ファイルを停止します。
		再生速度を遅くする	クリック毎に0.3倍速～1.0倍速まで0.1倍ステップで変更できます。
		再生速度を速くする	クリック毎に1.0倍速～2.0倍速まで0.2倍ステップ、2.0倍速～4.0倍速まで0.4倍ステップで調整できます。
		小 大 音量の調整	アイコンクリックで音声ミュートON( )/OFF( )を切り替えます。 バー( )の左右操作で再生音声の音量を調整します。
⑦	走行速度表示	GPSで記録した走行速度を表示します。	
⑧	ウィンドウサイズ切替	アイコンをクリックすることで、ウィンドウサイズを変更します。(大、中、小)	
⑨	プログラム	バージョン表示	ソフトウェアのバージョンを表示します。
		最小化	ウィンドウを最小化します。
		最大化	ウィンドウを最大化します。
		閉じる	ソフトウェアを終了します。
⑩	地図表示ウィンドウ	読み込まれた映像はGoogleマップに連動して自車位置が移動します。 ※ インターネットに接続されていないと、地図(Googleマップ)は表示されません。	

No	表示名	説　明
⑪	ファイル詳細表示	録画ファイルの詳細情報を表示します。 ファイル選択時、背景を反転(青色)表示します。 選択ファイルをダブルクリックで再生します。 イベント記録にはアイコンを表示します。 (：Gセンサー記録、：ワンタッチ記録) ① ID：PCビューア内リストNo ② ファイル名 ③ ファイル単位の録画記録開始時間：表示形式：時：分：秒 ④ ファイル単位の録画記録終了時間：表示形式：時：分：秒 ⑤ ファイルサイズ：(MB) ⑥ ファイルパス：ファイルのパスを表示
⑫	タイムライン	クリック位置から再生できます。
⑬	左右反転	リアカメラ映像を左右反転します。
	連続再生	連続再生のON()/OFF()を切り替えます。
	ログデータの出力	再生している動画のKMLデータファイルをドキュメント ⇒PCViewer DRY TypeK⇒KMLフォルダ内に保存します。
	地図表示の切り替え	地図表示のON/OFFを切り替えます。
	Gセンサーグラフ表示の切り替え	Gセンサーグラフ表示のON/OFFを切り替えます。

録画ファイルの読み出しについて

本機で記録した映像や画像は、通常のファイルと同じようにパソコンで扱うことができます。下記の仕様を満たしたパソコンで再生・表示することができます。

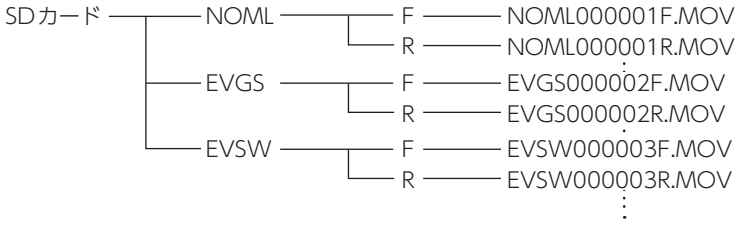
OS	Microsoft Windows 11、10
CPU	Intel Core i3相当、2.7GHz以上
RAM	4GB 以上

(2025年7月現在)

※対応OSや動作環境に関する最新情報は、ホームページをご確認ください。
※本体とパソコンを、直接USBケーブルなどで接続しないでください。
　本体からSDカードを取り出して、SDカードをパソコンと接続してください。
※推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
※再生する動画の種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。
※CPUやRAMが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。
※ご使用のSDカード容量に対応していないカードリーダーを使用した場合、SDカード内のファイルが破損することがあります。

■ フォルダ構造について

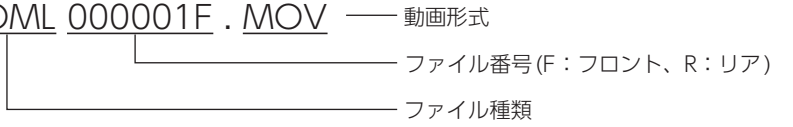
各ファイルは、下記のフォルダ構造で保存されています。



■ ファイル名について

ファイル種類、ファイル番号がファイル名になります。

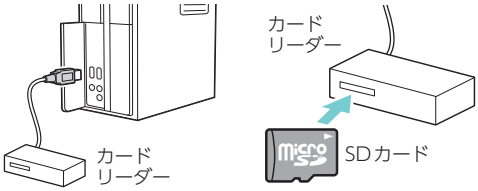
例：NOML 000001F . MOV



フォルダ種類		ファイル種類
NOML(常時録画)	F(フロントカメラ)	NOML：常時録画・タイムラプス
EVGS(Gセンサー記録)	R(リアカメラ)	EVGS：Gセンサー記録
EVSW(ワンタッチ)		EVSW：ワンタッチ記録

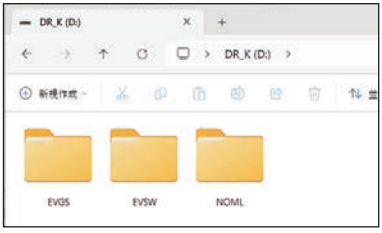
1. 専用ビューアソフトを使用せずに録画ファイルを再生する

1-1 カードリーダーをパソコンに接続し、SDカードをカードリーダーに接続する



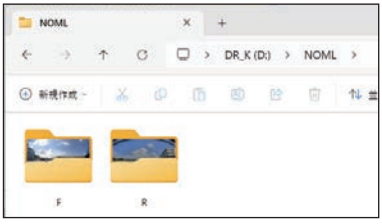
※SDカードを直接接続できるパソコンの場合は、カードリーダーを接続する必要はありません。

1-2 SDカードを開き、再生したいファイルがあるフォルダを開く



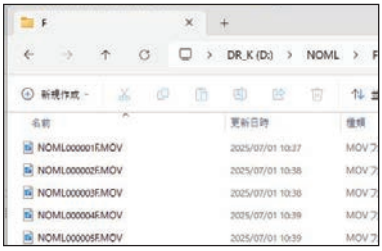
・フォルダ名について
(☛ P.68)

1-3 再生したいファイルがあるフォルダを開く



・フォルダ名について
(☛ P.68)

1-4 録画ファイルをダブルクリックする



Windows標準の「映画＆テレビ」で再生することができます。

こんなときは

本機に異常などがあった場合にメッセージと音でお知らせします。

※音量の設定を[0]にしている場合、音は鳴りません。(☛ P.54「音量」)
※メッセージ表示を解除する場合は、OK(+)ボタンを押してください。

メッセージ	対処方法
SDカードが挿入されていません 「SDカードが挿入されていません」	□ SDカードを挿入、または再挿入してください。 SDカード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。
SDカードがいっぱいです 「SDカードがいっぱいです」	□ 上書きモードが[上書き禁止]になっていませんか。 上書きモードを[上書き禁止]に設定した場合、常時録画がSDカード容量の上限に達すると、録画を停止します。上書きモードの設定は、☛ P.24を参照ください。 □ 本機でSDカードをフォーマットしてください。 フォーマットを行うと、すべてのファイルが消去されます。必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機でフォーマットしてください。(☛ P.12、56)
イベント記録がいっぱいです 「イベント記録がいっぱいです」	□ 上書きモードが[上書き禁止]または[常時録画上書]になっていませんか。 上書きモードを[上書き禁止]または[常時録画上書]に設定した場合、イベント記録がSDカード容量の上限に達すると、イベント記録を停止します。上書きモードの設定は、☛ P.24を参照ください。
再生モード中　切替不可 「再生モード中　切替不可」	□ 再生モード中に設定メニュー画面切替を行うことはできません。動画記録モードから設定メニュー画面切替を行ってください。(☛ P.51)
初期化に失敗しました 「初期化に失敗しました」 SDカードを初期化してください 「SDカードを初期化してください」	□ 本機に対応したSDカードかご確認ください。 記録媒体：microSDHC/microSDXCカード 容量：16GB~128GB スピードクラス：Class 10以上 □ 本機でSDカードをフォーマットしてください。 フォーマットを行うと、すべてのファイルが消去されます。必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機でフォーマットしてください。(☛ P.12、56) □ フォーマット後も頻繁にメッセージが表示される場合は、新しいSDカードに交換してください。
このSDカードは使用できません 「このSDカードは使用できません」	□ 本機に対応したSDカードかご確認ください。 記録媒体：microSDHC/microSDXCカード 容量：16GB~128GB スピードクラス：Class 10以上

故障かな？と思ったら

電源がONにならない

□ 電源コードが外れていませんか。

□ シガーライターソケットの内部が汚れて、接触不良をおこしていませんか。
2～3回左右にひねりながらシガーライターソケットに挿し込み直してください。

□ ヒューズが切れていないか確認してください。（☛ P.26）

電源はONになるが本体が起動しない/画面が表示されない

□ リセットボタンを押して再起動してください。（☛ P.15）

□ SDカードを取り外して起動してください。
起動する場合はSDカードが原因となっている可能性があります。本機に対応したSDカードかご確認ください。
（記録媒体：microSDHC/microSDXCカード、容量：16GB~128GB、スピードクラス：Class 10以上）

□ 画面自動オフの設定をご確認ください。（☛ P.55）

車両停止(ACC OFF)しても本体電源がOFFにならない

□ 別売品のマルチバッテリー、または駐車監視用 電源直結コードを接続していませんか。
設定によっては車両停止(ACC OFF)後も本体に電源を供給するため本体電源はOFFになりません。強制的に電源OFFする場合は、電源コードを取り外してください。（☛ P.11）

録画ファイルがない

□ 本機でフロントカメラまたはリアカメラの録画ファイルを消去していませんか。
本機でどちらかの録画ファイルを消去した場合、もう一方の対になる録画ファイルも一緒に消去されます。あらかじめご了承ください。

□ 上書きされていませんか。
初期値では上書きモード「全て上書き」のため上限に達すると上書きされます。（☛ P.76）

□ 各専用フォルダを確認してください。（☛ P.20）

□ 本機の動作温度範囲を超えている場合、動作を停止します。周囲の温度が下がってからご使用ください。

イベント記録ファイルが生成されない

□ 事故発生時の衝撃が弱くありませんでしたか。
事故発生時の衝撃が弱い場合、Gセンサーが衝撃を検知できない場合があります。
その際は、常時録画の映像をご確認ください。（☛ P.20）

映像が記録できない

□ SDカードが正しく挿入されていますか。
SDカード挿入時は アイコン、未挿入時には アイコンが表示されます。(☛ P.19)

□ (SDカード異常時)アイコンになっていませんか。
SDカードが異常時、映像を記録することはできません。本機でSDカードのフォーマット(☛ P.12)を行ってください。また、本機でフォーマットしても頻繁に (SDカード異常時)アイコンが表示される場合は、新しいSDカードに交換してください。

リアカメラの映像が映らない

□ リアカメラケーブルのプラグをカメラジャックの奥までしっかりと挿し込んでいますか。
リアカメラユニットが接続されているかアイコンで確認してください。

(リアカメラ接続時)

(リアカメラ未接続時)

モニター画面に斑点や輝点がある

□ 液晶パネルの現象です、故障ではありません。
有効画素の中に画素欠けや常時点灯する場合があります。

専用ビューアソフトで地図や走行速度、加速度が表示されない

□ インターネットに接続されていますか。
インターネットに接続されていない場合、地図(Googleマップ)は表示されません。

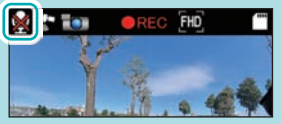
□ GPS測位していましたか。
録画ファイルにGPSデータがない場合、地図(Googleマップ)は表示されません。

□ タイムラプスで録画していませんか。
タイムラプスで録画した場合、GPSデータを記録しないため地図(Googleマップ)は表示されません。

再生時に音声が出ない

□ タイムラプスで録画していませんか。
タイムラプスで録画した場合、音声は録音されません。

□ 音声録音はONになっていますか。(☛ P.47)
音声録音OFF中はアイコンを表示します。



(音声録音OFFアイコン)

駐車記録しない

＜マルチバッテリー（OP-MB4000Ⅱ）＞

□ 電源コネクターは接続されていますか。（☛ P.40）

□ オフタイマー設定が「使用しない」、またはディップスイッチ４がOFFになっていませんか。（☛ P.38）
上記の設定では車両停止（ACC OFF）後の本機への電源供給が行われません。

＜駐車監視用 電源直結コード（OP-VMU5M）＞

□ 駐車記録スイッチはONになっていますか。（☛ P.44）

□ オフタイマー設定が「OFF」になっていませんか。（☛ P.43）
オフタイマー設定が「OFF」になっていると、車両停止（ACC OFF）後の本機への電源供給が行われません。

□ 車両停止（ACC OFF）時の車両バッテリー電圧が検出電圧設定以下になっていませんか。
検出電圧設定以下では電源供給は行われません。検出電圧設定を変更してください。（☛ P.43）

駐車記録モード（タイムラプス）にならない

＜手動＞

□ 自動駐車モード切替が［ON］になっていませんか。（☛ P.53）
［ON］の場合、ボタン操作による駐車記録モード（タイムラプス）は無効になります。

＜自動＞

□ 別売品の駐車監視用 電源直結コード（OP-VMU5M）を接続していますか。（☛ P.17）

□ 自動駐車モード切替が［ON］になっていますか。（☛ P.53）
［OFF］の場合、車両停止（ACC OFF）時に自動で駐車記録モード（タイムラプス）へは移行しません。

勝手に駐車記録モード（タイムラプス）になってしまう

□ 電源コードのコネクターを奥まで挿し込んでいますか。
コネクターを奥まで挿し込んでいない場合、車両の始動／停止（ACC ON/OFF）に関係なく駐車記録モード（タイムラプス）へ移行することがあります。奥まで挿し込まれているかご確認ください。（☛ P.34、35、39、42）

仕 様

外形寸法 (突起部除く)	【フロント】 64(幅)×49(高さ)×33(奥行)mm ※ 取付ブラケット(テープ貼付)装着時85(高さ)mm (窓ガラス25°想定の場合)
	【 リ ア 】 58(幅)×25(直径)mm ※ 取付ブラケット(テープ貼付)装着時35(高さ)mm (窓ガラス25°想定の場合)
本体重量	【フロント】 約85g (microSDカード含む)
	【 リ ア 】 約20g
記録媒体	microSDカード (32GB付属) 16GB ～ 128GB (Class 10以上)
撮影素子	200万画素カラー CMOS (フロントカメラ STARVIS™技術搭載※1)
最大記録画角※2	【フロント】 対角170° (水平150°、垂直80°)
	【 リ ア 】 対角160° (水平140°、垂直80°)
記録解像度	最大200万画素
	【フロント】 1080P (1920 × 1080)／720P (1280 × 720)
	【 リ ア 】 1080P (1920 × 1080)
F値	【フロント】 1.8
	【 リ ア 】 2.8
GPS	有
Gセンサー	有 (感度設定可能)
HDR	有 (フロント/リア)
記録方式	常時録画 ／ イベント記録(Gセンサー記録、ワンタッチ記録<手動録画>) ／ 駐車記録(タイムラプス)※3
録画ファイル構成	30秒単位、13分45秒単位※4
画面サイズ	【フロント】 2.0インチ フルカラー TFT液晶
音声録音	ON ／ OFF可能
フレームレート	27.5コマ/秒、1コマ/秒※4
映像ファイル形式	MOV
記録映像 再生方法※5	・専用ビューアソフト「PC Viewer DRY TypeK」(弊社ホームページよりダウンロードできます) ・Windows標準の「映画＆テレビ」
電源電圧	DC12Vマイナスアース車専用 (5V入力)
消費電力	5W
動作温度範囲	－10℃～＋60℃
製品保証期間	1年 (消耗品は除く)

※上記は、ドライブレコーダー協議会「表示ガイドライン」に基づく表記です。

※1：STARVIS(スタービス)は、監視カメラ用途CMOSイメージセンサ向けに開発された、高感度・高画質を実現するソニーグループ株式会社の裏面照射型画素技術です。
※2：超広角レンズのため、視野角の水平、垂直と対角の比率は異なります。
※3：駐車記録には別売品のマルチバッテリー (OP-MB4000Ⅱ)、または駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5M)が必要です。
※4：タイムラプス中のみ。
※5：Microsoft Windows 11、10に対応。

別売品：マルチバッテリー(OP-MB4000Ⅱ)	
入力電圧	DC12V（最大6A）
出力電圧	12V（1A）
オフタイマー設定時間	0.5時間/1時間/2時間/4時間/6時間/12時間/無制限
内蔵電池	ニッケル水素電池　12V/4,000mAh
動作温度範囲	0℃～+45℃（充電時：+5℃～+45℃）
外形寸法 （突起部除く）	144(幅)×33(高さ)×131(奥行)mm
本体重量	約950g（内蔵電池含む）

別売品：駐車監視用 電源直結コード(OP-VMU5M)	
入力電圧	DC12V/24V
出力電圧	5V（2A）
検出電圧設定値	12V車：11.6V/11.8V/12V/12.2V/12.4V/12.6V 24V車：23.6V/23.8V/24V/24.2V/24.4V/24.6V
オフタイマー設定時間	0.5時間/1時間/2時間/3時間/4時間/6時間/12時間
動作温度範囲	－10℃～＋60℃
外形寸法 （突起部除く）	53(幅)×67(高さ)×23(奥行)mm
本体重量	約222g(ケーブル含む)

・STARVISは、ソニーグループ株式会社の商標です。
・Google、Googleマップは、Google LLC の商標です。
・「Windows®」、「Microsoft®Windows®」は、Microsoft Corporationの、商標または登録商標です。
・「microSD™」は、SD Card Associationの商標または登録商標です。
・その他の各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®マークは明記していません。

microSDカード対応一覧表

※本機と市販品のmicroSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。
※付属品以外のSDカードを使用する場合、初回起動時に必ず本機でフォーマットしてください。
※SDカードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。SDカードの性質上、書込み可能回数など製品寿命があります。
※容量が大きいSDカードを使用した場合、ファイル数の増加により本機の動作が遅くなることがあります。あらかじめご了承ください。

記録媒体	microSDHC/microSDXCカード
容量	16GB ～ 128GB
SDスピードクラス	Class 10以上

※スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

1. 録画時間の目安

SDカード容量	通常録画		タイムラプス	
	1080P(初期値)	720P	1080P(初期値)	720P
16GB	約54分	約62分	約25時間	約28時間
32GB(付属)	約108分	約124分	約50時間	約56時間
64GB	約216分	約248分	約100時間	約112時間
128GB	約432分	約496分	約200時間	約224時間

※上記値は目安で、絶対保証値ではありません。
※お使いの使用状況により録画可能時間は変化します。

2. イベント記録の最大記録件数

SDカード容量	1080P(初期値)	720P
16GB	約36件	約40件
32GB(付属)	約72件	約80件
64GB	約144件	約160件
128GB	約288件	約320件

※上記値は目安で、絶対保証値ではありません。
※最大記録件数は、Gセンサー記録とワンタッチ記録を合わせた件数です。
※1件につき4ファイル(フロント+リア)移動した場合。
※SDカードによってファイル数が変化する場合があります。あらかじめご了承ください。